

令和3年度（2021年度）
熊本県教職員研修計画

熊本県教育庁

令和3年（2021年）3月

目 次

第1章 教職員研修基本方針	1
1 計画の趣旨	2
2 くまもとの教職員像	2
3 教職員に求められる資質・能力	3
(1) 校長及び教員	
(2) 事務職員（教育行政（教育事務）職員）	
(3) その他の教職員	
4 研修の基本的な考え方	5
第2章 教職員研修実施計画	10
1 研修の種類	11
2 研修一覧	12
3 研修概要	14

<資料>

- ・(資料1)「熊本県教員等の資質向上に関する指標」の活用にあたって
- ・(資料2)各研修における「伸ばす主な資質」について

第 1 章 教職員研修基本方針

1 計画の趣旨

県教育委員会では、平成18年に策定した「教職員研修見直し指針」に基づき、概ね3年間を一つの区切りとして教職員研修の実践と再評価を行い、P D C Aサイクルによる研修の改善を図ってきた。

その後、平成29年には、「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」の施行により、「校長及び教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標」を定めるものとされ、「くまもとの教職員像」(平成17年策定)を踏まえて「熊本県教員等の資質向上に関する指標」(以下、「指標」という。)を策定し、指標を踏まえた教職員研修実施計画のもとで、教職員の資質・能力の向上を図る研修を行ってきた。

令和2年度からは、小学校で新学習指導要領が全面実施となったことをはじめ、県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策についての基本方針である「熊本県教育大綱」を改定するとともに、本県教育の振興のための施策に関する基本的な計画となる「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」を策定し、本県の現状や教育課題に応じた取組を推進している。

こうした状況に加え、社会の変化や教育に対する社会の要請を踏まえ、改めて一人ひとりの教職員が、これまで同様に「くまもとの教職員像」を教職員の目指す姿として共有することが重要である。そのうえで、これまで本県の教職員が自己研鑽により蓄積してきた教育実践を引継ぎつつ、新たな時代のニーズに対応できる教職員として、常にその資質・能力の向上を図ることが必要である。

以上のことを踏まえ、これまでの本県教職員研修の実績を土台とし、より効果的な研修を実施する視点を盛り込み、本計画を策定する。

2 くまもとの教職員像

県教育委員会では、教育に携わる者の人間性や社会性を示す「基本的資質」と、教育に関する専門的知識や技能等を示す「専門性」を「くまもとの教職員像」の大きな柱としている。

	教職員としての基本的資質	教職員としての専門性
くまもとの 教職員像	①教育的愛情と人権感覚 自らの言動が児童生徒の人格形成に大きな影響を与えることを自覚し、豊かな人権感覚を持って、一人一人に温かく、また公平に接する教職員 ②使命感と向上心 教職員としての使命感と情熱を持ち続け、時代の変化から生じる新しい課題にも積極的に対応するため、常に新しい知識を求め、実践に生かす教職員 ③組織の一員としての自覚 互いに情報を共有し、協力し合って組織的に課題に対応する教職員	①児童生徒理解と豊かな心の育成 児童生徒との信頼関係を培い、一人一人の個性やよさをしっかりと見つめ、自分に対する自信と他者に対する思いやりの心を育む教職員 ②学習の実践的指導力 基礎・基本を習得させるための徹底した指導と児童生徒が自ら学び自ら考える力を身に付ける学習を着実に展開し、確かな学力を育む教職員 ③保護者・地域住民との連携 保護者・地域住民の大きな期待があることを自覚し、保護者や地域住民と情報を共有し、またそのニーズの把握に努め、互いの信頼関係の中で課題解決に当たる教職員

3 教職員に求められる資質・能力

(1) 校長及び教員*

本指標(「熊本県教員等の資質向上に関する指標(H29年)」)は、「くまもとの教職員像」を踏まえ、各教員等のキャリアアップや人材育成の道しるべとして、経験段階に応じて求められる資質・能力を明確化したものである。 ※「教育公務員特例法」における教員

	経験段階 ※ 経験年数は およその目安	総合的人間力	使命感・倫理観	実践的指導力等	マネジメント力
求 め ら れ る 資 質 ・ 能 力	採用段階	人権尊重の精神を基盤に教育的愛情を持って行動し、コミュニケーション力や協調性を発揮する能力。	教育公務員としての使命感や責任感を持って児童生徒に接する姿勢。	養成段階で身に付けるべき教科の専門性を基盤にした学習指導・生徒指導等の基礎的な能力。	養成段階で身に付けるべき児童及び生徒理解や学級経営の基礎的な能力と、学校組織等や自己の役割を理解する能力。
	基礎期 (1～5年)	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、コミュニケーション力を発揮し信頼関係を構築する能力。	教育公務員としての使命感・倫理観を持ち、組織の一員として職責を遂行する謙虚な姿勢。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する基礎的な知識や技能を習得し、活用する能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団的指導力。
	向上期 (6～10年)	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、良好な信頼関係を構築し、状況に応じて的確に発言・行動する能力。	教育公務員としての高い使命感・倫理観を持ち、後輩教員に助言・支援を行うなど、学校運営の一翼を担おうとする姿勢。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する実践的・専門的な知識や技能を習得し、活用する能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。
	充実期 (11～16年)	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、ミドルリーダーとしての的確な状況判断能力とその判断に基づく行動力。	教育公務員としての高い使命感・倫理観を持ち、ミドルリーダーとして後輩教員に適切な指導を行うなど、学校運営の一端を担おうとする姿勢。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する高度な知識や技能を習得し、ミドルリーダーとして効果的に実践できる能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営及び学年経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。
	発展期 (17～25年)	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、中核教員としての全校的視野に立った課題対応力・各種調整能力。	教育公務員としての高い使命感と職責の重要性を踏まえた倫理観を持ち、中核教員としての全校的視野に立った指導力を発揮しようとする姿勢。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関するより高度な知識や技能を習得し、中核教員として全校的視野に立った実践的指導力を学校内外へ発揮する能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学年経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核教員として全校的視野を持ち、学校外との連携・協働ができる広範な経営力・企画力。 指導者・管理職として必要な基礎的知識や能力。
	円熟期 (26年～)	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、指導者として他の教員へ助言・支援するなど、学校全体の指導的役割を果たすことのできる課題対応力・各種調整能力。 〈管理職(校長・副校長・教頭)〉 深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、管理職として他の教職員へ助言・支援するなど、学校全体の指導的役割を果たすことのできる的確な判断力・決断力などの能力。	教育公務員としての崇高な使命感と職責の重要性を踏まえた深い倫理観を持ち、指導者として学校目標の達成のために常に新しい知識を求め、実践に生かそうとする姿勢。 〈管理職(校長・副校長・教頭)〉 教育公務員としての崇高な使命感と職責の重要性を踏まえた深い倫理観を持ち、管理職として“夢の実現を目指す熊本の人づくり”に向けた学校目標の達成に全力を傾けようとする姿勢。	学習指導・生徒指導等をはじめ指導者としての豊かな経験とさらに高度な知識・熟練した技能を活かした教員の力量形成を支援・指導する能力。 〈管理職(校長・副校長・教頭)〉 管理職として、豊かな教職経験を踏まえた助言等、他の教職員の力量形成を支援・指導する能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。 〈管理職(校長・副校長・教頭)〉 安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の推進者としてのリーダーシップを発揮し、管理職として学校内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力及び求められるニーズに適應させる能力。

(2) 事務職員（教育行政（教育事務）職員）

本指標は、「くまもとの教職員像」を踏まえ、H29年に策定した「教育行政（教育事務）職 人事・人材育成基本方針」を基に作成したものである。同方針では、求める事務職員像を「自ら考えてチャレンジし、積極的に協働しながら、高い意識を持って実践する職員」としている。

	経験段階 ※ 経験年数はおおよその目安	総合的人間力	実務力	政策形成力	マネジメント力
求められる 資質・能力	採用段階	教職員としての使命感・責任感と人権尊重の精神を基盤として行動し、コミュニケーション力や協調性を発揮する能力。	採用段階で身に付けるべき教育行政や学校に関する基本的な知識及びあらゆる機会を捉えて能力向上を図り自己実現のために成長していこうとする意識。	採用段階で身に付けるべき学校組織を理解する能力。	採用段階で身に付けるべき組織における自己の役割を理解する能力。
	育成期 (1～10年) ※ジョブローテーションを通じ基盤を火入れ	教職員としての高い使命感・倫理観と豊かな人権感覚を持ち、学校内外の関係者と良好な関係を構築するため必要となるコミュニケーション力。状況に応じて的確に発言・行動できる能力。	前向きに挑戦する姿勢とコスト・スピード意識を持ち、担当業務をはじめ職務に関する基礎的知識及び法的根拠を習得し、他の職員と協働しながら、適正かつ迅速に処理する能力。	県政全般と地域の実情を意図し、所属目標や経営方針に沿った、よりよい教育活動を推進するための基礎的な知識や企画立案力。	担当業務を管理・統制し、課題を発見するとともに、改善を提案できる能力。所属のリスクマネジメントを理解し、課題意識を持って、実践する能力。
	充実・発展期 (11～20年)	教職員としての高い使命感・倫理観と豊かな人権感覚を持ち、学校内外の関係者と有効で建設的な関係を構築するために必要となる均衡・交渉・調整能力。ミドルリーダーとしての的確な状況判断能力・行動力。	ミドルリーダーとして教育行政や学校に関する幅広く専門的な知識等を活かし、高度な職務を積極的に協働しながら、コスト・スピード意識を持って適切に遂行する能力。	県政全般と地域の実情を理解し、所属目標や経営方針に沿った、よりよい教育活動を推進するための高度な知識や政策形成力。	ミドルリーダーとして事務室等を運営するための経営管理能力や統率力。所属のリスクマネジメントを実践し、必要な提案・支援を行う能力。
	円熟期 (21年～)	教職員としての高い使命感・倫理観と豊かな人権感覚を持ち、学校内外の関係者とより有効で建設的な関係を構築するために必要となる均衡・交渉・調整能力。他の教職員へ助言・支援するなど、所属全体の指導的役割を果たすことのできる課題対応力・各種調整能力。	事務のスペシャリストとして、教育行政や学校に関する幅広く専門的な知識や強みのある職務分野を活かし、更に高度な職務を積極的に協働しながらコスト・スピード意識を持って適切に遂行するとともに、他の職員の力量形成を支援・指導する能力。	事務のスペシャリストとして、県政全般と地域の実情を視野に入れ、所属目標や経営方針に沿った、よりよい教育活動を推進するための更に高度な知識や行政職の専門性を活かした政策形成力。	事務のスペシャリストとして、リーダーシップを発揮し、所属内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営管理能力・統率力。指導的立場で所属のリスクマネジメントを実践し、効果的な提案・支援を行う能力。
		〈行政管理職、教員管理職、県立学校事務長、市町村立学校事務長〉 教職員としての高い使命感・倫理観と豊かな人権感覚を持ち、学校内外の関係者とより有効で建設的な関係を構築するために必要となる均衡・交渉・調整能力。管理職としての他の教職員へ助言・支援するなど、所属全体の指導的役割を果たすことのできる的確な判断力・決断力などの能力。	〈行政管理職、教員管理職、県立学校事務長、市町村立学校事務長〉 管理職として、所属の事務等を総括し、これまで培った豊かな経験を踏まえた助言等、他の職員の力量形成を支援・指導する能力。	〈行政管理職、教員管理職、県立学校事務長、市町村立学校事務長〉 管理職として、県政全般と地域の実情を踏まえ、所属目標や経営方針の実現に向けた、よりよい教育活動を推進するためのリーダーシップや行政職の専門性を活かした政策形成力。	〈行政管理職、教員管理職、県立学校事務長、市町村立学校事務長〉 管理職として、所属内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営管理能力・統率力及び求められるニーズに適應させる能力。責任者として所属のリスクマネジメントを総括し、管理運営する能力。

(3) その他の教職員

実習教師、学校司書、寄宿舎指導員、技師等についても、「くまもとの教職員像」を目指す姿とし、(1)及び(2)の指標を各職種及び業務内容に応じて読みかえ、資質・能力の育成を図るものとする。

4 研修の基本的な考え方

① 「指標」に基づいた資質・能力の向上

② 新たな教育課題等に対応した研修の重点化

③ 効果的・効率的な研修の実施

① 「指標」に基づいた資質・能力の向上

教職員研修の実施にあたっては、「熊本県教員等の資質向上に関する指標」に基づき、育成する資質・能力を明確にしたうえで研修体系の構築や研修プログラムを開発する。

② 新たな教育課題等に対応した研修の重点化

新学習指導要領や本県教育委員会が策定する教育振興基本計画（「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」）及び本県を取り巻く教育の状況等を踏まえ、令和3年度は、下記の研修に重点的に取り組む。

●若手教職員の資質・能力の育成

※研修番号・研修名は、P12~P13の「研修一覧」参照

(研修番号)研修名【所管課】	特に充実させる内容
103・106「小・中・義務教育・県立学校初任者研修」 【教育センター】	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会人としての自覚と責任」、「コンプライアンス」、「働き方改革」等 ・教科等の基礎的な指導力の育成（主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善） ・生徒指導、学級経営についての基礎的な指導力の育成
103・106「小・中・義務教育・県立学校初任者研修（2年目研修）」 【教育センター】	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等指導、特別支援教育、特別活動等 <p>※R2年度に、新型コロナウイルス感染症対策による研修の内容及び方法の変更のため、1年目に十分な研修ができなかった内容の補完（研修日を1日間追加し、3日間で実施）</p>

●管理職のマネジメント力の強化

201・203・205・207・211 「小・中・義務教育・県立学校新任管理職（校長・副校長・教頭・事務長）研修」 【教育センター】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場の教育の情報化の促進に向けたマネジメント ・学校経営を取り巻く課題解決等（不祥事防止、リスクマネジメント、社会に開かれた教育課程の実現等）
--	---

●確かな学力の育成

409「熊本の学び」スタート・アップ研修 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領及び「熊本の学び推進プラン」に沿うとともに、学校の特徴を生かした「カリキュラム・マネジメント」や「授業改善」の推進
---------------------------------	--

●外国語の指導力向上

小学校英語授業づくりプロジェクト 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた小学校英語授業づくりの周知及び授業力向上 ・英語教育推進室の指導主事が直接学校を訪問。授業参観や授業研究会を通して実践的・継続的に研修を行う。
中学校英語授業づくりプロジェクト 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた中学校英語授業づくりの周知及び授業力向上 ・英語教育推進室・各教育事務所等・県立教育センターの指導主事等が直接学校を訪問。授業参観や授業研究会を通して、実践的・継続的に研修を行う。

●ICT を活用した指導力向上

120～123・212・401 「ICT活用推進研修パッケージ」 【教育政策課】	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員のICT活用指導力の向上 (情報活用能力の育成、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、個別最適な学びの実現)
--	--

●特別支援学級担当者の指導力向上

304「特別支援学級担当者指導力向上研修」 【特別支援教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童生徒の理解と支援 ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援 ・教育課程の編成 ・自立活動の実際
------------------------------------	---

●生徒指導及びいじめ問題への対応力向上

316「県立学校生徒指導担当者研修会」 【学校安全・安心推進課】	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の問題行動等に対する「懲戒処分」や「特別な指導」の進め方と組織的な生徒指導力の向上
402「心のきずなを深めるシンポジウム」 【学校安全・安心推進課】	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県いじめ防止基本方針の改訂に伴い、学校のいじめに関する情報の窓口を一元化するため新設した「情報集約担当者」のスキルアップ ・各学校の主任・主事等のいじめ問題への対応力の向上 ・市町村教育委員会及び保護者（PTA関係）への啓発

●防災主任の専門性の向上

312「防災主任研修会」 【学校安全・安心推進課】	<ul style="list-style-type: none"> ・防災主任の専門性の向上（知識・実践力の習得） ・災害に対する学校版タイムラインの作成を通じて、学校の防災管理体制の強化
------------------------------	---

● 体育・保健体育の指導力向上

403「小学校（幼稚園）体育指導力向上研修会」	・新学習指導要領の趣旨に沿った各校種教員の体育・保健体育の指導力向上
405「中学校保健体育指導力向上研修会」 【体育保健課】	・本県児童生徒の体力の課題である柔軟性の向上を中心とした体づくり運動及び体づくり運動の要素を取り入れた各運動領域の指導法

● 人権教育の充実

「熊本県人権教育・啓発基本計画（第4次）」と「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」の趣旨を踏まえた様々な人権問題に関する基本的認識の深化と実践的な指導力の向上

329「担当指導主事等研修会」 【人権同和教育課】	・担当指導主事としての実践的な指導力の向上
217「校長人権教育推進会議」 414「人権教育フォーラム」 【人権同和教育課】	・管理職としての人権教育推進の方向性等についての理解深化
326「新任人権教育主任講習会（オンライン研修）」 327「公立小中学校・義務教育学校人権教育主任研修会」 328「県立学校人権教育主任研修」 【人権同和教育課】	・人権教育主任としての役割の自覚及び実践的な指導力の向上
413「教職員のための菊池恵楓園現地研修」 【人権同和教育課】	・ハンセン病回復者及びその家族の人権に関する基本的認識の深化と実践的な指導力の向上

③ 効果的・効率的な研修の実施

- ・従来の「集合研修」に加え、「オンライン研修」及び集合研修とオンライン研修を組み合わせた「ハイブリッド研修」を充実させる。

オンライン 研修	オンデマンド型 研修	ホームページなどに掲載された動画コンテンツや資料等を各受講者が視聴して行う研修
	リアルタイム型 研修	研修の講師や受講者が、同時双方向的に音声や映像等をやりとりして行う研修

- ・学校や教職員の個別の研修ニーズに応じて行う研修や指導主事による学校訪問等による研修を充実させる。（スクールサポート、人権教育に関する教職員研修支援、小学校英語授業づくりプロジェクト、中学校英語授業づくりプロジェクト）
- ・教職員が主体的に学ぶ研修動画を充実させる。（自ら学ぶ研修動画）
- ・研修の重複や不足がないよう、研修内容を精査し、研修形態も含めて、効果的・効率的な方策を検討する。

例）研修の統合・削減・時間短縮、オンライン研修

◆スクールサポート

学校、各種教育研究会及び市町村教育委員会並びに教育事務所等県関係機関からの要請等に応じて、県立教育センター所員を派遣し、以下の項目について教職員に対して指導・助言を行う。

学校経営・運営等に関すること、教科等指導に関すること、今日的な教育課題に関すること（道徳教育、外国語教育、情報教育、特別支援教育、防災教育等）、児童生徒理解に関すること、校内研究等の推進に関すること、ICT活用に関すること（動画配信、オンライン研修等）

◆人権教育に関する教職員研修支援

県内の市町村教育委員会や県立学校が主催する人権教育に関する教職員研修への人権同和教育課指導主事等派遣を通じて、教育現場における人材育成を支援する。

○方法：1時間程度のワークショップへの講師派遣

○内容：人権に関する法令・施策等に関すること、人権に関する知的理解の深化及び人権感覚の育成に関すること 等

◆「小学校英語授業づくりプロジェクト」「中学校英語授業づくりプロジェクト」

	内容	対象者	訪問者
小学校英語授業づくりプロジェクト	指導主事等が直接学校を訪問し、授業を参観したうえで指導・助言を行い、年間を通じて、授業づくりを支援する。	小学校英語担当教員	英語教育推進室指導主事
中学校英語授業づくりプロジェクト		中学校英語教員	英語教育推進室指導主事、県立教育センター指導主事、各教育事務所指導主事等

◆自ら学ぶ研修動画

【熊本県立教育センター「gacco」動画コンテンツ】

URL：<https://www.higo.ed.jp/center/kensyuu/online>

	研修テーマ	本数
実践発表動画	カリキュラム・マネジメント（小）	7本
	カリキュラム・マネジメント（中）	8本
	カリキュラム・マネジメント（高）	7本
特別支援教育	法令等（特別支援教育について）	2本
	校内研修プランの紹介	9本
	発刊物・資料等の紹介（全教職員向け）	10本
	熊本大学・本吉大介准教授の特別講演	2本
	特別支援学校担任向け	15本
	特別支援教育コーディネーター向け	4本
学びのUD化について（基本編）	8本	

	学びのUD化について（高等学校編）	5本
	共同研究の概要紹介	7本
	自立活動の実践事例～H30	13本
	自立活動の実践事例 R1	9本
防災主任研修	防災教育と心のケア（教職員向け）	4本
	防災教育と心のケア（管理職向け）	2本
	熊本県学校支援チーム（隊員向け）	4本
	参考資料	1本
学習指導要領（平成29年告示）の説明	小学校学習指導要領の説明	11本
	中学校学習指導要領の説明	11本
	小学校・中学校共通	2本
教育の情報化	解説動画	4本
	つくば中央研修復講	3本
理科関係	時短につながる理科室整理のポイント	1本
授業動画	授業マイスター授業動画	7本
人権教育	人権関係法令、個別的な人権課題	6本
合 計		162本

【熊本県教育情報システム「CoLas」動画コンテンツ】

URL：<https://www.higo.ed.jp/colas/>

	研修テーマ	本 数
ICT 活用	映像で分かる！授業でのICT活用	小学校 20本 中学校 14本 高等学校 10本
	特別支援学校におけるICT教材の活用事例	8本
情報モラル	映像で分かる！授業でのICT活用	小学校 11本 中学校 11本 高等学校 10本
小学校プログラミング教育	プログラミング教育解説動画	4本
	文部科学省プログラミング教育YouTubeコンテンツ	※リンク集
	小学校を中心としたプログラミング教育ポータル	※リンク集
	実践事例動画	2本
ICTコンテスト	くまもとICTコンテスト受賞作品	22本
合 計		112本

第2章 教職員研修実施計画

1 研修の種類

研修名		内 容
基本研修		<ul style="list-style-type: none"> ・法定研修（初任者研修、中堅教諭等資質向上研修） ・職務経験年数や重点取組に応じて、教育委員会が該当者を指定して行う研修
専門研修	管理職等研修	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職等（校長・副校長・教頭・主幹教諭・事務長）に対して行う研修
	担当者研修	<ul style="list-style-type: none"> ・職務に応じて必要とされる資質・能力の向上を目指して行う研修（各業務担当者に対して実施するもの）
選択研修		<ul style="list-style-type: none"> ・専門性や実践的指導力の向上、今日的教育課題への対応等、個々のスキルアップを目指して行う研修（希望や推薦で受講するもの）
特別研修		<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野の研究や幅広い知識等の習得のため、外部機関等で行う研修（推薦や審査を経て受講するもの）
スクールサポート 学校訪問等による指導 自ら学ぶ研修動画		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や教職員個々の研修ニーズに応じて受講する研修 ・指導主事等による学校訪問等により教職員の指導力向上や人材育成等を図る。 ・教職員が動画コンテンツを活用して自ら学ぶ研修

次ページの「研修一覧」の所管の表記

教育政策課・・・教政

学校人事課・・・学人

高校教育課・・・高校

特別支援教育課・・・特支

学校安全・安心推進課・・・学安

体育保健課・・・体育

義務教育課・・・義務

社会教育課・・・社教

人権同和教育課・・・人同

県立教育センター・・・センター

2 研修一覧

基本研修

<基本研修>

- ・法定研修(初任者研修、中堅教諭等資質向上研修)
- ・職務経験年数や重点取組に応じて、教育委員会が該当者を指定して行う研修

(23本)

No.	研修番号	研修名	所管
★重	1	101 幼稚園等新規採用教員・保育士研修	義務・センター
★重	2	102 幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	義務・センター
★重	3	103 初任者研修(小・中・義務教育学校)	センター
★	4	104 5年経験者研修(小・中・義務教育学校)	センター
★	5	105 中堅教諭等資質向上研修(小・中・義務教育学校)	センター
★重	6	106 初任者研修(高・特)	センター
★	7	107 5年経験者研修(高・特)	センター
★	8	108 中堅教諭等資質向上研修(高・特)	センター
	9	109 新規採用養護教諭研修	センター
★	10	110 養護教諭5年経験者研修	センター
	11	111 養護教諭中堅教諭等資質向上研修	センター
	12	112 新規採用栄養教諭研修	センター
★	13	113 栄養教諭5年経験者研修	センター
新	14	114 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修	センター
	15	115 新規採用教育行政(教育事務)職員研修	学人
	16	116 4年目教育行政(教育事務)職員研修	学人
	17	117 7年目教育行政(教育事務)職員研修	学人
	18	118 10年目学校事務職員研修	学人
	19	119 新任・2年目学校司書、新任・2年目実習教師、新任・2年目寄宿舎指導員研修	センター
★新重	20	120 市町村立学校対象一人一台端末アカウント研修	教政
★新重	21	121 県立学校対象生徒・教員グループアカウント研修	教政
新重	22	122 G suite educationタブレット端末操作研修(高等学校)	教政
★新重	23	123 GIGAスクール構想における学びに関する研修	教政

【研修番号120～123、212、401】

◆「ICT活用推進研修パッケージ」

本県のICTを活用した教育の推進を図るための取組みの全体像をGIGAスクール構想対応「ICT活用推進研修パッケージ」として示している。具体的には、校種別実践ガイドブック等による啓発、対面型研修での実践的演習、ウェブサイト・オンライン研修での自主的なスキル向上、一人一台端末環境での活用環境づくりなどを体系的に実施する。

専門研修

<管理職等研修>

- ・管理職等(校長・副校長・教頭・主幹教諭・事務長)に対して行う研修

<管理職等研修>

(23本)

No.	研修番号	研修名	所管
★重	1	201 小中義務教育学校新任管理職(校長・副校長)研修	センター
★	2	202 小中義務教育学校管理職(2年目校長・副校長)研修	センター
★重	3	203 県立学校新任管理職(校長)研修	センター
★	4	204 県立学校管理職(2年目校長)研修	センター
★重	5	205 小中義務教育学校新任管理職(教頭)研修	センター
★	6	206 小中義務教育学校管理職(2年目教頭)研修	センター
★重	7	207 県立学校新任管理職(教頭)研修	センター
★	8	208 県立学校管理職(2年目教頭)研修	センター
★	9	209 小中義務教育学校新任主幹教諭研修	センター
★	10	210 県立学校新任主幹教諭研修	センター
★重	11	211 県立学校新任事務長研修	センター
★新重	12	212 学校CIO(管理職)研修	教政
	13	213 教職員人事評価制度に係る評価者研修	学人
	14	214 特別支援教育管理職研修	特支
	15	215 認定こども園・幼稚園・保育所等園長等研修	義務
	16	216 認定こども園・幼稚園・保育所等教頭・主任等研修	義務
重	17	217 校長人権教育推進会議	人同
	18	218 学校マネジメント研修“組織改革ファシリテーション編”	センター
	19	219 学校マネジメント研修“リスクマネジメント編”	センター
★	20	220 学校マネジメント研修“学校課題解決編”	センター
	21	221 学校マネジメント研修“組織づくり・人材育成編”	センター
	22	222 学校マネジメント研修“リーダーシップ編”	センター
	23	223 学校マネジメント研修“働き方改革編”	センター

※研修番号202～204・206・208の受講者は、下記の研修から一つ選択して受講する。受講枠に余力がある場合、その他の希望者の受講可。

★…オンライン研修を含む

新…R3年度開設

重…R3年度に重点的に取り組む研修

「オンライン研修」

- ・熊本県立教育センターが管理する動画配信システム「gacco」を活用した、場所・時間を問わず受講可能な研修
- ・動画配信等による研修

<担当者研修>

- ・職務に応じて必要とされる資質・能力の向上を目指して行う研修

<担当者研修>

(31本)

No.	研修番号	研修名	所管
	1	301 熊本県学校支援チーム隊員の養成研修	教政
	2	302 熊本県学校支援チーム隊員の更新研修	教政
★	3	303 県立高等学校新任教務主任研修	高校
重	4	304 特別支援学級担当者指導力向上研修	特支
	5	305 特別支援学校医療的ケア教員研修	特支
	6	306 ICT活用研修	特支
	7	307 特別支援学校技能検定研修会	特支
	8	308 教育課程研修(特別支援学校)	特支
	9	309 新任教務主任研修(特別支援学校)	特支
	10	310 教務主任研修(特別支援学校)	特支
新	11	311 学部主事等研修	特支
重	12	312 防災主任研修会	学安
	13	313 防災教育に関する研修会	学安
★	14	314 県立学校教育相談コーディネーター研修会	学安
	15	315 学校安全教室講習会	学安
★重	16	316 県立学校生徒指導担当者研修会	学安
	17	317 健康教育担当者研修会	体育
	18	318 高等学校等体育主任会	体育
	19	319 認定こども園・幼稚園・保育所等熊本県研究協議会	義務
	20	320 幼・保等、小、中連携セミナー	義務
	21	321 小中学校キャリア教育研修会	義務
	22	322 英語担当者指導法研修会	義務
	23	323 JETプログラム外国語指導助手の指導力等向上研修	義務
	24	324 道徳教育パワーアップ研究協議会	義務
	25	325 日本語支援連絡協議会	義務
★重	26	326 新任人権教育主任講習会	人同
重	27	327 公立小中学校・義務教育学校人権教育主任研修会	人同
重	28	328 県立学校人権教育主任研修	人同
重	29	329 担当指導主事等研修会	人同
	30	330 学校事務センター給与・旅費グループ長及び共同実施主任研修	学人
	31	331 学校司書実践研修	センター

選択研修

<選択研修>

- ・専門性や実践的指導力の向上、今日的教育課題への対応等、個々のスキルアップを目指して行う研修

《21本》

No.	研修番号	研修名	所管
★新重	1	401 インテル21世紀型スキルPBL研修	教政
重	2	402 心のきずなを深めるシンポジウム	学安
重	3	403 小学校(幼稚園)体育指導力向上研修会	体育
	4	404 小学校水泳実技・水難事故防止セミナー	体育
重	5	405 中学校保健体育指導力向上研修会	体育
	6	406 高等学校等保健体育指導力向上研修会	体育
	7	407 運動部活動指導教職員(部活動指導員含む。)及び地域の指導者指導力向上研修会	体育
	8	408 創造 熊本の教育チャレンジゼミ	義務・学人
重	9	409 「熊本の学び」スタート・アップ研修	義務
	10	410 幼児教育アドバイザー育成研修	義務
★	11	411 「地域と学校の連携・協働」関係者等研修	社教
	12	412 「地域と学校の連携・協働」推進実践交流会	社教
重	13	413 教職員のための菊池恵楓園現地研修	人同
重	14	414 人権教育フォーラム	人同
	15	415 学力向上を目指すICT活用授業実践研修	センター
	16	416 Let's enjoy プログラミング教育	センター
	17	417 Let's study プログラミング教育	センター
新	18	418 特別支援教育研修	センター
	19	419 リーダー養成研修	センター
	20	420 養護教諭キャリアアップ研修	センター
	21	421 教育行政(教育事務)職員ステップアップ研修	学人

◆「スクールサポート」

学校、各種教育研究会及び市町村教育委員会並びに教育事務所等関係機関からの要請等に応じて、県立教育センター所員を派遣し、以下の項目について教職員に対して指導・助言を行う。

- ・学校経営・運営等に関すること
- ・教科等指導に関すること
- ・今日的な教育課題に関すること
(道徳教育、外国語教育、情報教育、特別支援教育、防災教育等)
- ・児童生徒理解に関すること
- ・校内研究等の推進に関すること
- ・ICT活用に関すること(動画配信、オンライン研修等)

◆自ら学ぶ研修動画

熊本県立教育センター「gacco」及び熊本県教育情報システム「CoLas」の動画コンテンツを活用して、自ら学ぶことができる。

※P8～P9「自ら学ぶ研修動画」参照

特別研修

<特別研修>

- ・専門分野の研究や幅広い知識等の習得のため、外部機関等で行う研修

《11本》

No.	研修番号	研修名	所管
1	501	知事部局派遣研修	教政
2	502	学校組織マネジメント指導者養成研修	教政
3	503	学校教育の情報化指導者養成研修	教政
4	504	職業教育担当教員先端企業等研修	高校
5	505	国内留学派遣研修	高校
	505 (休止)	国内留学派遣研修	義務
6	506	大学院派遣研修	高校
			義務
7	507	教職員等中央研修	高校
			義務
			学安
			体保
8	508	指導力サポート研修	高校・義務・特支
			高校・義務・特支
9	509	指導改善研修	高校・義務・特支
10	510	国立特別支援教育総合研究所研修	特支
11	511	「特別支援教育」国内留学生派遣研修	特支

※オンライン研修の実施については、各研修実施機関の計画による。

◆学校訪問による指導

「小学校英語授業づくりプロジェクト」

小学校英語に係る担当教員の指導力向上を目指し、英語教育推進室指導主事等が直接学校を訪問し、授業を参観したうえで指導・助言を行うとともに、年間を通じて授業づくりを支援する。

「中学校英語授業づくりプロジェクト」

中学校英語教員の指導力向上を目指し、英語教育推進室、県立教育センター、各教育事務所の指導主事等が直接学校を訪問し、授業を参観したうえで指導・助言を行うとともに、年間を通じて授業づくりを支援する。

◆人権教育に関する教職員研修支援

県内の市町村教育委員会や県立学校が主催する人権教育に関する教職員研修への人権同和教育課指導主事等派遣を通じて、教育現場における人材育成を支援する。

○方法

1時間程度のワークショップへの講師派遣

○内容

人権に関する法令・施策等に関すること、人権に関する知的理解の深化及び人権感覚の育成に関すること等

3 研修概要

【基本研修】

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
101	幼稚園等新規採用教員・保育士研修	義務・センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 幼児支援 特別支援教育 学級経営 学校(園)安全	幼稚園等の新規採用教員に対し、幼稚園等の教育水準の維持向上を図るため、幼稚園教育の基本的事項並びに指導方法等の実際について研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を修得することを目的とする	・講話 ・行政説明 ・班別協議	幼稚園・保育所等新規採用教員・保育士 約60人	1日	県庁	4月21日
					・社会人としての自覚と責任 ・セルフマネジメント(コンプライアンス・働き方改革含む) ・人権教育の推進について ・2カ月を振り返って ・子供のけがと応急処置		1日	県庁	6月18日
					・保育技術1(幼児期と絵本) ・防災教育と心のケア ・虐待の早期発見と対応		1日	県庁	7月20日
					・認定こども園・幼稚園・保育所等熊本県研究協議会参加(講話・実践発表等)		1日	県庁	8月24日
					・これからの教育・これからの保育・学校(園)評価 ・特別支援教育の推進 ・保育技術2(幼児期における音楽あそび) ・保育技術3(幼児期の運動)		1日	県立教育センター	9月10日
					・近隣小学校訪問		1日	近隣小学校	
					・これまでを振り返って ・指導計画の作成 ・保育相談に生かすカウンセリング ・保育技術4(幼児期の造形表現)		1日	県立教育センター	11月11日
					・保育参観		1日 計8日	その他	2月8日
102	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	義務・センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 幼児児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校(園)安全	就学前教育の中核的存在の幼稚園等教諭に対して、個々の能力、適性等に応じた研修を実施することにより、幼児教育に関する指導力及び教員としての資質の向上を図る。	・開会行事 ・市町村教育局長講話 ・人権教育の推進 ・中堅教諭としての現状と課題、そしてこれから ・特別支援教育 ・コンプライアンス・働き方改革 ・閉会行事	公私立幼稚園10年経験者 若干名	1日	県立教育センター	6月11日
					・認定こども園・幼稚園・保育所等の教頭・主任等研修会参加		1日	県庁	7月13日
					・保育所体験研修		1日	県庁	
					・幼児教育アドバイザー育成研修への参加		3日	県庁	6月30日 10月28日 2月16日
					・教育・保育課程熊本県研究協議会参加 ・選択研修		1日 1日 計8日	県庁 所属園で決定(選択)	8月24日
103	初任者研修(小・中・義務教育学校)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校安全	小・中学校の新任教員に対して、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見の習得を図る。	・開会行事 ・教育長講話 ・教育公務員倫理 ・人権教育の推進について	熊本市を除く 新任教員全員	1日	ホテル熊本テルサ(予定)	4月1日
					(小・中・義共通)・義務教育課長講話 ・特別支援教育 ・特別活動 ・コンプライアンス・働き方改革 ・社会人としての自覚と責任 ・熊本地震に学ぶ: 防災教育と心のケア ・閉会行事 (中・義)・健康・安全、体力向上、運動部活動の指導 ・学級経営 ・生徒指導 ・道徳 ・教育の情報化 ・教科等指導研修 (小・義)・健康・安全、体力向上について ・児童生徒理解・保護者対応 ・生徒指導・学級経営 ・水泳指導における事故防止・安全確保につながる運動 ・体育: 安全な水泳指導について ・教科等指導研修(事前指定研修・選択研修)		5日	県立教育センター	(中・義)5月25日 6月22日 7月30日 8月20日 11月16日 (小・義)6月8日: 県立総合体育館(予定) 6月8日 7月6日 7月27日 8月17日・18日 11月9日・10日
					・オンライン研修		1日	各学校等	(中・義)6月3日 (小・義)6月17日
					・各教育事務所等の課題を踏まえた基本的事項 ・カウンセリング理論・実技研修による生徒指導研修 ・初任者相互の研究授業や実践発表 ・人権教育 ・食育 ・環境教育 ・授業改善に向けた実技研修		3日	各教育事務所の計画による(原則として)	
					・特別支援学校研修		3日	管内の特別支援学校(2日)、各学校(1日)	
					・新任地についての理解 ・地域の産業、文化、歴史等の調査及び体験研修 ・地域の幼稚園での保育参観、保育体験		2日 計15日	各市町村教育委員会の計画による	
					初任者研修(2年次) (小・中・義務教育学校) (2年目研修)		センター	教職としての素養 使命感・倫理観 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営	令和2年度(2020年度)初任者研修を終了した教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、教職への誇りや情熱、教職員としての使命感と学び続ける姿勢を持つ教師としての資質を高めるとともに、当面する教育的課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。
(小・中・義共通) ・教科等指導研修 ・熊本地震に学ぶ: 防災教育と心のケア ・特別活動 ・特別支援教育	1日	県立教育センター	(中・義)10月8日 (小・義)10月20日・22日						
(小・中・義共通)・教科等指導研修 (中・義)・学習指導要領総則について ・生徒指導・学級経営における課題解決に向けて (小・義)・総合的な学習の時間 ・教育の情報化・プログラミング教育	1日 計3日	県立教育センター	(中・義)1月21日 (小・義)1月18日・19日						
初任者研修(3年次) (小・中・義務教育学校) (3年目研修)	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営	令和元年度(2019年度)初任者研修を終了した教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、教職への誇りや情熱、教職員としての使命感と学び続ける姿勢を持つ教師としての資質を高めるとともに、当面する教育的課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・教科等指導研修 ・生徒指導事例研究 ・生徒指導・学級経営における課題解決に向けて	令和元年度(2019年度)初任者研修を終了した教諭(小・義173人、中・義60人)	1日	県立教育センター	(中・義)7月13日 (小・義)7月9日	
				・教科等指導研修 ・今後の飛躍を目指して(初任3年間で振り返って) ・教育センター所長講話		1日 計2日	県立教育センター	(中・義)2月4日 (小・義)1月25日・26日	

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
104	5年経験者研修(小・中・義務教育学校)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校としての連携・協働 学校安全	新規採用後5年を経過した教員に対して、教職への誇りや情熱、教職員としての使命感と学び続ける姿勢を持つ教師としての資質を高めるとともに、メンターとしての自覚を持たせ、職務遂行能力の一層の向上を図る。	・開会行事 ・コンプライアンス・働き方改革 ・特別支援教育 ・コース別研修Ⅰ(教科等指導)	新規採用後5年を経過した教諭(小・中・義172人)	1日	県立教育センター	(中・義)6月29日 (小・義)6月23日
					・オンライン研修		1日	各学校等	(小・中・義) 7月29日
					・オンライン研修		1日	各学校等	(小・中・義) 7月上旬～9月下旬
					・コース別研修Ⅲ(教科等指導) ・道徳 ・学校マネジメント ・閉会行事		1日 計4日	県立教育センター	(中・義)9月29日 (小・義) 10月5日・6日
105	中堅教諭等資質向上研修(小・中・義務教育学校)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校としての連携・協働 学校安全	中堅教諭等に対して、教科指導、生徒指導等、職務遂行において広い視野に立って推進するとともに、メンターとしての役割を果たすことができるよう、個々の能力、適性等に応じて、教職員としての資質や専門性の向上を図る。	・開会行事 ・人権教育の推進について ・市町村立教育局長講話 ・コース別研修	熊本市を除く小・中学校、八代支援学校及び県立中学校の教諭で、新規採用後10年を経過した教諭(小・中・義135人)	1日	県立教育センター	(中・義)6月1日 (小・義)6月11日
					《小・義務教育学校》 ・生徒指導 ・特別支援教育 ・学校マネジメント ・道徳 ・コース別研修Ⅲ、Ⅳ(A学校マネジメント、B特別支援教育、C教科等指導) ・コンプライアンス・働き方改革 ・学校が目指すべき家庭や地域との連携・協働の在り方 ・研修のまとめ ・県立教育センター所長講話		3日	県立教育センター	(小・義) 8月2日 10月13日 2月1日
					《中・義務教育学校》 ・生徒指導 ・特別支援教育 ・学校マネジメント ・道徳 ・コース別研修Ⅲ、Ⅳ(A学校マネジメント、B特別支援教育、C教科等指導) ・コンプライアンス・働き方改革 ・学校が目指すべき家庭や地域との連携・協働の在り方 ・研修のまとめ ・県立教育センター所長講話		3日	県立教育センター	(中・義) 8月6日 10月19日 2月8日
					・オンライン研修		1日	各学校等	(小・中・義) 6月30日
					・オンライン研修		1日	各学校等	(小・中・義) 7月上旬～1月下旬
					・特別支援学校研修 ・社会体験研修		1日 2日 計9日	各特別支援学校 各事業所等	9月～10月 夏季休業中
106	初任者研修(高・特)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校安全	県立学校の新任教員に対して、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見の習得を図る。	・開会行事・教育長講話・教育公務員倫理・人権教育の推進について	新任教員全員	1日	ホテル熊本テルサ(予定)	4月1日
					・初任者研修の概要・初任者研修に向けて・教科等指導研修Ⅰ		1日	県立教育センター	5月13日
					・社会人としての自覚と責任 ・生徒指導 ・カウンセリング ・特別支援教育		1日	県立教育センター	5月20日
					・教科等指導研修Ⅱ ・健康・安全・部活動 ・コンプライアンス・働き方改革		1日	県立教育センター	6月10日
					・教科等指導研修Ⅲ		1日	県内各地	7月8日
					・キャリア教育 ・教科等指導研修Ⅳ、Ⅴ		1日	県立教育センター	(特支)7月28日 (高校)7月29日
					・オンライン研修		1日	各学校等	(特支)8月3日 (高校)8月5日
					・教科等指導研修Ⅶ ・道徳教育 ・総合的な探究の時間(高) 自立活動(特)		1日	県立教育センター	9月9日
					・特別支援学校研修		3日	県内各地(2日)、各学校等(1日)	
					・熊本地震における学校の対応 ・心のケア ・令和2年7月豪雨災害における学校の対応 ・防災教育		1日	食品交流会館(フードバル)(予定)	9月30日
					・教科等指導研修Ⅷ		1日	(高校)県内各地(特支) 県立教育センター	10月21日
					・教科等指導研修Ⅸ、Ⅹ		1日	県立教育センター	12月2日
					・教科等指導研修Ⅺ ・学級経営 ・セルフマネジメント ・閉会行事		1日 計15日	県立教育センター	2月3日
					初任者研修(2年次)(高・特)(2年目研修)	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営	令和2年度(2020年度)初任者研修を終了した教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、教職への誇りや情熱、教職員としての使命感と学び続ける姿勢を持つ教師としての資質を高めるとともに、当面する教育的課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・開会行事 ・生徒指導・学級経営における課題解決に向けて ・教科等指導研修Ⅰ
・教科等指導研修Ⅱ ・熊本地震における学校の対応 ・特別支援教育		1日	県立教育センター	10月7日					
・県立学校教育局長講話 ・児童生徒理解・保護者対応 ・教科等指導研修Ⅲ ・閉会行事		1日 計3日	県立教育センター	1月20日					
初任者研修(3年次)(高・特)(3年目研修)	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営	令和元年度(2019年度)初任者研修を終了した教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、教職への誇りや情熱、教職員としての使命感と学び続ける姿勢を持つ教師としての資質を高めるとともに、当面する教育的課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・開会行事 ・教科等指導研修ⅠⅡ	令和元年度(2019年度)初任者研修を終了した教諭 43人	1日	県立教育センター	7月15日	
				・教科等指導研修Ⅲ ・生徒指導・学級経営における成果と課題 ・今後の飛躍を目指して(初任3年間で振り返って) ・閉会行事		1日 計2日	県立教育センター	1月27日	

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者参加人数	日数	会場	日程等	
107	5年経験者研修(高・特)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校安全	新規採用後5年を経過した教員に対して、教職への誇りや情熱、教職員としての使命感と学び続ける姿勢を持つ教師としての資質を高めるとともに、メンターとしての自覚を持たせ、職務遂行能力の一層の向上を図る。	・開会行事 ・教科等指導研修ⅠⅡ	新規採用後5年を経過した教諭 114人	1日	県立教育センター	(特支)7月28日 (高校)7月29日	
					・オンライン研修		1日	各学校等	8月2日～8月31日	
					・オンライン研修		1日	各学校等	8月～11月	
					・教科等指導研修Ⅳ ・生徒指導・学級経営 ・コンプライアンス・働き方改革		1日	県立教育センター	12月8日	
計4日										
108	中堅教諭等資質向上研修(高・特)	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校安全	中堅教諭等に対して、学級・学年経営、学習指導及び生徒指導等、職務遂行において広い視野に立つて推進するとともに、メンターとしての役割を果たすことができるよう、個々の能力・適性等に応じて、教職員としての資質や専門性の向上を図る。	・開会行事 ・県立学校教育局長講話 ・人権教育の推進について ・コンプライアンス・働き方改革 ・道徳教育	新規採用後10年を経過した教諭 97人	1日	県立教育センター	6月4日	
					・教科等指導研修Ⅰ ・特別支援教育 ・総合的な探究の時間(高) ・特別支援学校のセンター的機能(特)		1日	県立教育センター	6月24日	
					・教科等指導研修Ⅱ、Ⅲ		1日	県立教育センター	8月4日	
					・オンライン研修		1日	各学校等	8月上旬～2月上旬	
					・オンライン研修		1日	各学校等	8月2日～8月31日	
					・社会体験研修		2日	県内各施設、企業等	夏季休業中	
					・特別支援学校研修(高) ・教科等指導研修Ⅴ(特)		1日	各特別支援学校(高) 県立教育センター(特)	(高校)9月～10月 (特支)10月26日	
					・教科等指導研修Ⅴ(高)Ⅵ(特) ・学校マネジメント ・研修のまとめ ・閉会行事		1日	各学校等	2月10日	
計9日										
109	新規採用養護教諭研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 保健室経営・保健経営 学校安全	新規採用養護教諭に対して、養護教諭としての職務遂行に必要な基本的事項に関する指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。	・開会行事 ・教育長講話 ・教育公務員倫理 ・人権教育の推進について	新規採用養護教諭全員 23人	1日	ホテル熊本テルサ	4月1日	
					・保健管理の実際 ・健康診断の実際 ・歯、口腔の健康診断及び保健指導の実際 ・学校における養護教諭の役割 ・コンプライアンス・働き方改革		1日	県立教育センター	4月22日	
					・新学習指導要領と保健教育 ・学校の危機管理における養護教諭の役割 ・防災教育と心のケア		1日		8月5日	
	計4日									9月28日
	養護教諭2年目研修	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 保健室経営・保健管理 学校安全	令和2年度(2020年度)新規採用研修を終了した養護教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、教職への誇りや情熱、教職員としての使命感と学び続ける姿勢を持つ教師としての資質を高めるとともに、当面する教育的課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・保健室経営計画について ・学校におけるカウンセリング ・学校環境衛生について	令和2年度(2020年度)新規採用養護教諭研修を終了した 23人	1日	県立教育センター	7月16日	
					・救急法 ・保健管理・保健教育におけるICT活用 ・感染症の予防と対応		1日		10月21日	
計2日										
養護教諭3年目研修	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 保健室経営・保健管理	令和元年度(2019年度)新規採用研修を終了した養護教諭に対して、複数年にわたる段階的育成をとおして、教職への誇りや情熱、教職員としての使命感と学び続ける姿勢を持つ教師としての資質を高めるとともに、当面する教育的課題への対応と実践的指導力の一層の向上を図る。	・3年間を振り返って ・生徒指導 ・保健教育(授業実践)の発表 ・県立教育センター所長講話	令和元年度(2019年度)新規採用養護教諭研修を終了した 19人	1日	県立教育センター	2月4日		
110	養護教諭5年経験者研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 保健室経営・保健管理 学校安全	新規採用後5年を経過した養護教諭に対して職務遂行に必要な実践的な指導力と使命感を養うとともに、資質の向上を図る。	・オンライン研修	新規採用後5年を経過した養護教諭	1日	各学校等	8月2日～8月31日	
					・養護教諭が行うフィジカルアセスメント ・救急処置の実際 ・保健教育の進め方 ・養護教諭が行う食に関する指導 ・コンプライアンス・働き方改革		1日	県立教育センター	11月12日	
計2日										
111	養護教諭中堅教諭等資質向上研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 保健室経営・保健管理 学校安全	学校における健康教育の中核的存在の養護教諭として職務遂行に必要なより実践的な指導能力及び専門性を高めるとともに、資質の向上を図る。	・開会行事 ・市町村教育局長講話 ・人権教育の推進について ・研究テーマ設定 ・コンプライアンス・働き方改革	新規採用後10年を経過した養護教諭	1日	県立教育センター	6月1日	
					・新学習指導要領と保健教育 ・学校の危機管理における養護教諭の役割 ・防災教育と心のケア		1日	県立教育センター	8月5日	
					・虐待の早期発見と対応 ・特別支援教育 ・保健管理・保健教育におけるICT活用		1日		9月16日	
					・効果的な学校保健委員会の企画と運営 ・保健教育の進め方 ・学校における救急処置の実際		1日		11月26日	
					・社会体験研修		2日	各会場		
計6日										

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等					
112	新規採用栄養教諭研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 学級・学年経営 学校安全	新規採用の栄養教諭に対して、 学校給食の管理及び食に関する 指導に必要な基本的事項を研修 し、本県の教育について理解を深 め、栄養教諭としての自覚の高揚 と資質の向上を図る。	・教育長講話・教育公務員倫理・人権教育の推 進について	新規採用栄養 教諭全員 3人	1日	ホテル熊本テルサ	4月1日					
					・栄養教諭の職務について ・学校給食の管理について(栄養管理①) ・学校給食の管理について(衛生管理①) ・給食の時間における食に関する指導		1日	県庁	5月19日					
					・実地研修(共同調理場の視察)		1日	各教育事務所	6月～9月					
					・オンライン研修		1日	各学校等	7月1日～8月11日					
					・地域理解		1日	市町村	5月～10月					
					・学校給食の管理について(栄養管理②) ・先輩栄養教諭による実践発表 ・学校給食の管理について(衛生管理②)		1日	県庁	7月21日					
					・教科等における食に関する指導 ・個別的な相談指導について ・相談指導に生かすカウンセリング		1日	県庁	8月27日					
					・実践報告、研修のまとめ・2年目に向けて ・コンプライアンス・働き方改革		1日 計8日	県立教育センター	1月24日					
					栄養教諭2年目研修		センター	教職としての素養 使命感・倫理観 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営	令和2年度(2020年度)新規採用 研修を終了した栄養教諭に対し て、複数年にわたる段階的育成を とおして、教職への誇りや情熱、 教職員としての使命感と学び続け る姿勢を持つ教師としての資質を 高めるとともに、当面する教育的 課題への対応と実践的指導力の 一層の向上を図る。	・栄養教諭2年目の取組について ・学校給食の管理等について I ・学校給食の管理等について II	令和2年度 (2020年度) 新規採用栄養 教諭研修 を終了した 3人	1日	県立教育センター	6月7日
										・個別的な相談指導について ・栄養教諭2年目の取組の振り返りと3年目に向け て		1日 計2日	県庁	1月31日
栄養教諭3年目研修	センター	教職としての素養 使命感・倫理観 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営	令和元年度(2019年度)新規採 用研修を終了した栄養教諭に対し て、複数年にわたる段階的育成を とおして、教職への誇りや情熱、 教職員としての使命感と学び続け る姿勢を持つ教師としての資質を 高めるとともに、当面する教育的 課題への対応と実践的指導力の 一層の向上を図る。	・学校給食の管理について ・生徒指導事例研究 ・生徒指導・学級経営における課題解決に向けて	令和元年度 (2019年度) 新規採用栄養 教諭研修 を終了した 3人	1日	県立教育センター	7月13日						
				・学校給食の管理について ・新採3年目を振り返って ・教育センター所長講話		1日 計2日	県立教育センター	2月4日						
113	栄養教諭5年経験者研 修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学校給食管理 学校安全	新規採用5年を経過した栄養教 諭に対して、向上期の経験に応じ た研修を実施することにより、実 践的指導力及び専門性を高めると ともに、学び続ける姿勢をもつ栄養 教諭としての資質の向上を図る。	・オンライン研修	新規採用後 5年を経過し た栄養教諭 7人	1日	各学校等	6月1日～6月30日					
					・給食の時間における食に関する指導 ・学校給食におけるリスクマネジメント ・コンプライアンス・働き方改革		1日 計2日	県庁	7月2日					
114	栄養教諭中堅教諭等 資質向上研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 保健室経営・保健管理 学校安全	新規採用5年を経過した栄養教 諭に対して、向上期の経験に応じ た研修を実施することにより、実 践的指導力及び専門性を高めると ともに、学び続ける姿勢をもつ栄養 教諭としての資質の向上を図る。	・市町村教育局長講話 ・人権教育の推進について ・コンプライアンス・働き方改革 ・これまでも振り返って、研究テーマ設定	新規採用後 10年を経過 した栄養教 諭	1日	県立教育センター	6月1日					
					・オンライン研修		1日	各学校等	6月2日～6月30日					
					・給食の時間における食に関する指導 ・学校給食におけるリスクマネジメント		1日	県庁	7月2日					
					・社会体験研修		2日	県内各施設、企業等	夏季休業中					
					・教科等における食に関する指導 ・個別的な相談指導について ・相談指導に生かすカウンセリング		1日	県庁	8月27日					
					・実践報告、研修のまとめ ・次年度に向けて ・県立教育センター所長講話		1日 計7日	県立教育センター	2月8日					
					115		新規採用教育行政(教育 事務)職員研修	学人	※教育行政(教育事務) 職 人事・人材育成基本 方針による	教育庁・小・中・高等学校・特別 支援学校の新規採用教育行政職 員及び教育事務職員に対して、職 員としての自覚を促し使命感を養 うとともに、職務遂行に必要な基 本的内容に関する研修を行うこと で幅広い知見の習得及び資質の 向上を図る。	・教育長講話・地方公務員制度・財政・水俣病問 題・川辺川ダム問題・グループワーク・給与・服務・ 接遇・旅費・文書・福利厚生・会計・教育プラン・不 祥事及び不適正経理再発防止・人権教育・課長講 話・先輩講話・学校訪問・外部講師講話	新任教育行 政職員及び 教育事務職 員全員 19人	1日	県庁
2日	県庁	10月1日・10月4日												
1日	県庁	2月4日												
計6日														
116	4年目教育行政(教育 事務)職員研修	学人	※教育行政(教育事務) 職 人事・人材育成基本 方針による	教育庁・小・中・高等学校・特別 支援学校の教育行政職員及び教 育事務職員に対して、職務上必要 な専門的内容の研修を行うこと で、業務を円滑に遂行するための 能力を身につけるとともに、主 体的に能力開発に取組む意欲の向 上を図る。	・公務員倫理 ・障がいのある人への適切な配慮 ・適正な会計処理について ・行政文書概論 ・人権教育 ・接遇 ・先輩講話 ・グループワーク	H30年度採 用教育行政 (教育事務) 職員全員 32人	1日	県庁	9月17日					
117	7年目教育行政(教育 事務)職員研修	学人	※教育行政(教育事務) 職 人事・人材育成基本 方針による	教育庁・小・中・高等学校・特別 支援学校の教育行政職員及び教 育事務職員に対して、中堅職員と しての実践的・専門的な知識の習 得及び資質の向上を図る。	・公務員倫理 ・障がいのある人への適切な配慮 ・人権教育 ・外部講師講話 ・グループワーク	H27年度採 用教育行政 (教育事務) 職員 33人	1日	県庁	9月10日					
118	10年目学校事務職員 研修	学人	※教育行政(教育事務) 職 人事・人材育成基本 方針による	新規採用後10年目の学校事務 職員に対し、中堅職員としての自 覚を促すとともに、学校経営を主 体的に参画できる様な研修内容と し、中堅職員としての実践的・専 門的な知識の習得及び資質の向上 を図る。	・公務員倫理 ・障がいのある人への適切な配慮 ・人権教育 ・管理監督職員講話 ・グループワーク ・チームビルディング	平成24年度 採用学校事 務職員 28人	1日	県庁	9月3日					

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
119	新任・2年目学校司書、 新任・2年目実習教師、 新任・2年目寄宿舎指 導員研修	センター	※「くまもの教職員像」 教職員としての基本的資 質 教職員としての専門性	高等学校・特別支援学校の新任・2年目の学校司書及び実習教師、寄宿舎指導員に対して、教職員としての自覚を促し使命感を養うとともに、職務遂行上必要な幅広い知見の習得を図る。	【共通】 ・防災教育・人権教育の推進について ・職務及び児童生徒理解(コンプライアンス・働き方改革含む) 【学校司書】 ・学校図書館運営について 【実習教師】 ・専門別研修(工業、農業)・先輩の実践発表、目指す実習教師像 【寄宿舎指導員】 寄宿舎指導員の職務について・先輩の実践発表・講話	新任学校司書 3人 新任実習教師 2人 新任寄宿舎指導員 2人 計7人	1日	県立教育センター(予定)	5月19日
120	市町村立学校対象一人一台端末アカウント研修	教政	指導技術	市町村立学校における一人一台端末のアカウント作成や、その効果的な利用方法に関する研修を行い、実践的指導力の向上を図る。	アカウント作成方法解説 トラブルに関する具体的な対処法 授業での効果的な利用についての講話	・新規採用及び臨時採用の授業に関わる全教員 ・異動に伴い、アカウント種別が変更になる全教員	1日	職場・自宅	未定
121	県立学校対象生徒・教員グループアカウント研修	教政	指導技術	県立学校における一人一台端末のアカウント作成や、その効果的な利用方法に関する研修を行い、実践的指導力の向上を図る。	オンラインのウェブ研修コースで実施 アカウント作成方法解説 トラブルに関する具体的な対処法 授業での効果的な利用についての講話	新規採用及び臨時採用で授業に関わる全教員	1日	職場・自宅	未定
122	G suite education タブレット端末操作研修(高等学校)	教政	指導技術	県立高等学校における、一人一台のタブレット端末を活用した授業づくりの基礎の習得を図る。	県立学校対象の集合研修 一人一台端末を使った事例紹介及び講話 授業場面を想定した操作体験 一人一台端末を活用した授業プラン作り(授業での活用・管理運用)	各学校の情報担当者	2日	県立学校	未定
123	GIGAスクール構想における学びに関する研修	教政	指導技術	GIGAスクール構想における1人1台端末環境での学びを充実させるため、教師のICT活用指導力の向上を図る。	オンラインのウェブ研修コースで実施 GIGAスクール構想における学びの概要 1人1台端末環境下での学びについて 情報モラル教育について	新規採用及び臨時採用で授業に関わる全教員	1日	職場・自宅	未定

【専門研修＜管理職等研修＞】

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等	
201	小中義務教育学校新任管理職(校長・副校長)研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	校長としての自覚と使命感を高めるとともに、学校の課題に的確に対応できる管理運営能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長講話「新任校長に望むこと」 ・講話「企業経営に学ぶ」 ・講話「学校CIO」 ・講義・演習「人事管理」(不祥事防止、リスクマネジメント等) 	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校に採用された校長・副校長全員	1日	<ul style="list-style-type: none"> ・くまもと県民交流会館パレア(予定) 	5月13日	
							1日		<ul style="list-style-type: none"> ・水前寺共済会館(その他) ・くまもと県民交流会館パレア(7月9日) ・各勤務校(7月30日) 	左記のとおり
								計2日		
202	小中義務教育学校管理職(2年目校長・副校長)研修	センター	教職としての素養 人権尊重の精神 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	2年目校長・副校長として、1年目の取組を踏まえ、課題解決、危機管理、人材育成等でのマネジメント力を更に高め、校長・副校長の管理運営能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長講話「新任校長に望むこと」 ・講話「企業経営に学ぶ」 ・講話「学校CIO」 ・講義・演習「人事管理」(不祥事防止、リスクマネジメント等) 	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校及び県立中学校の採用2年目校長・副校長全員	1日	<ul style="list-style-type: none"> ・水前寺共済会館(その他) ・くまもと県民交流会館パレア(7月9日) ・各勤務校(7月30日) 	左記のとおり	
203	県立学校新任管理職(校長)研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	校長としての自覚と使命感を高めるとともに、学校の課題に的確に対応できる管理運営能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長挨拶「新任校長に望むこと」 ・講話「企業経営に学ぶ」 ・講話「学校CIO」 ・講義・演習「人事管理」(不祥事防止、リスクマネジメント等) 	県立の高等学校・特別支援学校の新任校長全員	1日	<ul style="list-style-type: none"> ・くまもと県民交流会館パレア(予定) 	5月13日	
								1日	<ul style="list-style-type: none"> ・水前寺共済会館(その他) ・くまもと県民交流会館パレア(7月9日) ・各勤務校(7月30日) 	左記のとおり
								計2日		
204	県立学校管理職(2年目校長)研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	2年目校長として、1年目の取組を踏まえ、課題解決、危機管理、人材育成等でのマネジメント力を更に高め、校長の管理運営能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長挨拶「新任校長に望むこと」 ・講話「企業経営に学ぶ」 ・講話「学校CIO」 ・講義・演習「人事管理」(不祥事防止、リスクマネジメント等) 	県立の高等学校・特別支援学校の採用2年目校長全員	1日	<ul style="list-style-type: none"> ・水前寺共済会館(その他) ・くまもと県民交流会館パレア(7月9日) ・各勤務校(7月30日) 	左記のとおり	
205	小中義務教育学校新任管理職(教頭)研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	教頭としての自覚と使命感を高めるとともに、学校の課題に的確に対応できる管理運営能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回研修 ・講話「本県教育の課題と管理職の在り方」 ・講話「教職員のメンタルヘルス」 ・講義・演習「人事管理」(不祥事防止、リスクマネジメント等) 	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校及び県立中学校に採用された教頭全員	1日	くまもと県民交流会館パレア(予定)	5月18日	
							1日(1週間の期間内)		各勤務校	6月4日～6月10日
								計2日		
206	小中義務教育学校管理職(2年目教頭)研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	2年目教頭として、1年目の取組を踏まえ、課題解決、危機管理、人材育成等でのマネジメント力を更に高め、校長の学校運営を確実に補佐できる管理運営能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・希望選択(下記選択研修より1つ選択) ・学校マネジメント研修「組織改革ファシリテーション編」 ・学校マネジメント研修「リスクマネジメント編」 ・学校マネジメント研修「学校課題解決編」 ・学校マネジメント研修「組織づくり・人材育成編」 ・学校マネジメント研修「リーダーシップ編」 ・学校マネジメント研修「働き方改革編」 	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校及び県立中学校の採用2年目教頭全員	1日	<ul style="list-style-type: none"> ・水前寺共済会館(その他) ・くまもと県民交流会館パレア(7月9日) ・各勤務校(7月30日) 	左記のとおり	
207	県立学校新任管理職(教頭)研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	教頭としての自覚と使命感を高めるとともに、学校の課題に的確に対応できる管理運営能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回研修 ・講話「本県教育の課題と管理職の在り方」 ・講話「教職員のメンタルヘルス」 ・講義・演習「人事管理」(不祥事防止、リスクマネジメント等) 	県立の高等学校・特別支援学校の新任教頭全員	1日	くまもと県民交流会館パレア(予定)	5月18日	
							1日(1週間の期間内)		各勤務校	6月4日～6月10日
								計2日		
208	県立学校管理職(2年目教頭)研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	2年目教頭として、1年目の取組を踏まえ、課題解決、危機管理、人材育成等でのマネジメント力を更に高め、校長の学校運営を確実に補佐できる管理運営能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・希望選択(下記選択研修より1つ選択) ・学校マネジメント研修「組織改革ファシリテーション編」 ・学校マネジメント研修「リスクマネジメント編」 ・学校マネジメント研修「学校課題解決編」 ・学校マネジメント研修「組織づくり・人材育成編」 ・学校マネジメント研修「リーダーシップ編」 ・学校マネジメント研修「働き方改革編」 	県立の高等学校・特別支援学校の採用2年目教頭全員	1日	<ul style="list-style-type: none"> ・水前寺共済会館(その他) ・くまもと県民交流会館パレア(7月9日) ・各勤務校(7月30日) 	左記のとおり	
209	小中義務教育学校新任主幹教諭研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	組織における主幹教諭の果たすべき役割を学ぶことで、職務遂行の意識を高め、校長や教頭の補佐、調整、人材育成、指導監督等の資質・能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「人権教育の推進について」 ・講義「職務・校務運営」 ・講話「防災マネジメント」 	熊本市を除く市町村立小・中・義務教育・特別支援学校及び県立中学校の新任主幹教諭全員	1日	各勤務校	6月22日	
210	県立学校新任主幹教諭研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	組織における主幹教諭の果たすべき役割を学ぶことで、職務遂行の意識を高め、校長や教頭の補佐、調整、人材育成、指導監督等の資質・能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「人権教育の推進について」 ・講義「職務・校務運営」 ・講話「防災マネジメント」 	県立の高等学校・特別支援学校の新任主幹教諭全員	1日	各勤務校	6月22日	

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
211	県立学校新任事務長研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	事務長としての自覚と使命感を高めるとともに、学校の課題に的確に対応できる管理運営能力の向上を図る。	第1回研修 ・講話「本県教育の課題と管理職の在り方」 ・講話「教職員のメンタルヘルス」 ・講義・演習「人事管理」(不祥事防止、リスクマネジメント等)	県立の高等学校・特別支援学校の新任事務長全員	1日	くまもと県民交流館パレオ(予定)	5月18日
					第2回研修 ・講話「人権教育の推進について」 ・講話「人権教育と心のケア」		1日(1週間の期間内) 計2日		各勤務校
212	学校CIO(管理職)研修	教政	管理職としての専門性	教育の情報化について、学校のリーダーとしての自覚や、具体的な取組についての幅広い知見の習得を図る。	新任校長にたいしては集合研修 教育の情報化についての講話 先進的事例の紹介及び講話 授業での活用事例 自校の学校情報化に関する取組紹介等	新規採用管理職(全員)	2	職場・自宅	未定
213	教職員人事評価制度に係る評価者研修	学人	管理者としての素養 管理職としての専門性	評価者が教職員の能力や実績を適正に評価できるようにすること。	・人事考課における管理者の役割 ・人事考課とは ・評価期間中の管理者の接し方 ・期中評価面談の振り返り ・評価を人材育成に活かす ※内容はR2年度の内容	新任教頭・新任事務長	1日	未定	5月24日
214	特別支援教育管理職研修	特支	管理職としての素養 使命感・倫理観 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働 管理職としての専門性	発達障がい等障がいのある児童生徒の特性及び支援に対する小・中・高・特支の管理職の理解・啓発を図り、校内における特別支援教育の支援体制の充実を図る。	・国や県の特別支援教育に関する現状及び支援体制の充実等についての説明 ・実践報告 ・特別支援教育に関するグループ協議	小・中・義務教頭全員	1日	未定	未定
215	認定こども園・幼稚園・保育所等園長等研修	義務	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	認定こども園・幼稚園・保育所等の園長等に対して、熊本県の幼児教育の充実について専門的な講話や研究協議等を行い、園長等の見識を高め、就学前教育の振興・充実を図る。	・就学前教育の取組の方向 ・講話 ・協議・演習	認定こども園・幼稚園・保育所等の園長 200人	半日	県庁地下大会議室	6月9日
216	認定こども園・幼稚園・保育所等教頭・主任等研修	義務	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	認定こども園・幼稚園・保育所等の教頭・主任等に対して、熊本県の幼児教育の充実について専門的な講話や研究協議等を行い、教頭・主任等の見識を高め、就学前教育の振興・充実を図る。	・県の取組や子供の育ちの状況について ・講話 ・「幼稚園担当指導主事・担当者会」報告 ・協議・演習	認定こども園・幼稚園・保育所等の教頭・主任等 250人	1日	県庁地下大会議室	7月13日
217	校長人権教育推進会議	人同	教職としての素養 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学校としての連携・協働 管理職としての専門性	「人権尊重の精神に立った学校づくり」に向け、人権教育の充実・深化を図るため、校長の人権の意義・重要性の理解や様々な人権問題についての基本的認識を深めるとともに、自校の人権教育推進上の課題解決に向けた取組に資する。	・講話 ・行政説明 ・協議	公立小中学校・義務教育学校・県立学校の校長 約450人	半日	市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館)	6月3日

※202～204・206・208の受講者は、下記の研修から一つ選択して受講する。 ※受講枠に余力がある場合、その他の希望者の受講可。

218	学校マネジメント研修 "組織改革ファシリテーション編"	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	組織の中で解を共創する場をファシリテーションしていくスキルや、企業の組織変革のノウハウを学ぶことで、組織の活性化を進める能力を育成する。	・講義・演習「組織改革ファシリテーション」 ・演習「ファシリテーションの実践」	小・中・義務教育学校・高・特校長・副校長・教頭・事務長・主幹教諭・事務主査・事務主任 35人	1日	水前寺共済会館(予定)	7月1日
219	学校マネジメント研修 "リスクマネジメント編"	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	今日、学校教育をめぐる多様化・複雑化・高度化する課題に対して、学校の組織的な危機管理、課題解決能力の強化を図る。特に重大事案発生時の対応力を身につける。	・講義「リスクマネジメント概論」 ・講義・協議・演習「情報開示と説明責任」	小・中・義務教育学校・高・特校長・副校長・教頭・事務長・主幹教諭・事務主査・事務主任 30人	1日	くまもと県民交流館パレオ(予定)	7月9日
220	学校マネジメント研修 "学校課題解決編"	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	今日、学校教育を巡る多様化・複雑化・高度化する課題に対して、各種事例を通して学校の組織的な課題解決能力の強化を図る。	・講義・協議・演習「学校における課題解決」 ・講義・協議・演習「事例演習」	小・中・義務教育学校・高・特校長・副校長・教頭・事務長・主幹教諭・事務主査・事務主任 60人	1日	各勤務校	7月30日
221	学校マネジメント研修 "組織づくり・人材育成編"	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	コミュニケーションを密にし、協働意識を高める手法を学ぶことで、職場づくりの力や人材育成能力の向上を図る。	・講義・演習「人材育成と職場づくり」 ・演習「職場づくりとコミュニケーション」	小・中・義務教育学校・高・特校長・副校長・教頭・事務長・主幹教諭・事務主査・事務主任 60人	1日	水前寺共済会館(予定)	9月8日
222	学校マネジメント研修 "リーダーシップ編"	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	管理職として、より効果的な人材育成の手法を学び、組織の活性化を進める。部下職員から信頼されるリーダーの資質や、部下職員を円滑に動かす手法を学び、人材育成を通して組織の活性化を進める能力を育成する。	・講義「リーダーシップの在り方」 ・講義・協議・演習「人材育成の手法」	小・中・義務教育学校・高・特校長・副校長・教頭・事務長・主幹教諭・事務主査・事務主任 60人	1日	水前寺共済会館(予定)	9月17日
223	学校マネジメント研修 "働き方改革編"	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	社会環境の変化に対応した新しい学校づくりのために求められる組織マネジメントの理論を踏まえ、ワークライフバランスと業務改善を進めていく方策を学ぶ。	・講義「学校マネジメント概論」 「働き方改革～ワークライフバランス」 ・協議・演習「事例研究」	小・中・義務教育学校・高・特校長・副校長・教頭・事務長・主幹教諭・事務主査・事務主任 60人	1日	水前寺共済会館(予定)	9月22日

【専門研修<担当者研修>】

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
301	熊本県学校支援チーム 隊員の養成研修	教政	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 児童生徒支援 特別支援教育 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	大規模災害発生時及び平時における熊本 県学校支援チームの活動に必要な指導力 及び技術力を身に付けた隊員を養成する。	【初級編】 ・熊本県学校支援チームの組織・体制・活動 ・防災教育の基礎知識 ・心のケアの基礎知識	小・中・義・高・ 特の教職員 県教育庁職員 (43人予定)	1日	【初級編】 水前寺共済会館	6月25日
					【中級編】 ※302の更新研修第2回と合同実施 ・被災地支援の実際 ・実践発表 ・災害への備え		1日	【中級編】 水前寺共済会館	9月24日
					【上級編】 ・隊員としての心構え ・心のケアの発展知識 ・熊本の防災体制の実際		1日	【上級編】 県庁	11月19日
							計3日		
302	熊本県学校支援チーム 隊員の更新研修	教政	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 児童生徒支援 特別支援教育 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	知識技能を更新し、隊員に必要な指導力 及び技術力の保持・向上を図る。	【第1回】 ・平時の防災教育について ・気象に関する基礎知識 ・河川に関する基礎知識	熊本県学校支 援チーム隊員 (50人予定)	半日	【第1回】 水前寺共済会館	9月3日
					【第2回】 ※301の養成研修中級編と合同実施 ・被災地支援の実際 ・実践発表 ・災害への備え		1日	【第2回】 水前寺共済会館	9月24日
							計2日		
303	県立高等学校新任教務 主任研修	高校	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 学校経営	新任の教務主任に対し、その職務に関す る基本的な事項について研修を行い、教務 主任としての資質の向上を図る。	・関係法規、新高等学校学習指導要領(平成30年3月告 示)、熊本県教育関係者必携、教育課程編成の手引(令 和2年3月及び平成24年1月)に関する研修。 ・教務主任の実務に関する事例研究。	県立高等学校 新任教務主任	半日	県庁会議室	4月16日
304	特別支援学級担当者 指導力向上研修	特支	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育	特別支援学級を担当する教員を対象とし て、特別支援学級の教育課程編成に関する 基礎的・基本的な内容の講義や自立活動の指 導に関する演習を取り入れた実践的な研修 等を実施し、指導力の向上と支援体制の充 実を図る。	・障がいのある児童生徒の理解と支援 ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援 ・教育課程の編成 ・自立活動の実際	小中義務教育 学校の特別支 援学級の担当 者	2日	県内各地	未定
305	特別支援学校医療的 ケア教員研修	特支	指導技術 児童生徒支援 特別支援教育 学校安全	医療的ケアが必要な児童生徒に対して、 教員が喀痰吸引等の一部を看護師の指導 の下、安全かつ適切に実施するため、内容 や方法・具体的技法について研修を深め、 実践的指導力の向上を図る。	・基本研修(講義・演習・9時間)	医療的ケア実 施校の教諭・ 講師等	2日	黒石原支援学校	7月29～30日
306	ICT活用研修	特支	指導技術 児童生徒支援 特別支援教育	ICTを活用した先進的な取組を参観するこ とを通して、ICTの活用方法や授業への効果 についての理解を深め、ICTを積極的に活用 した授業を実践する力の向上を図る。	(I) ・ICT機器の特徴や機能の理解 授業での活用事例 ・ICTを活用した授業設計 ・模擬授業 ※ ICTを活用した授業設計、模擬授業はコース別に分け て実施	県立特別支援 学校各1人	1日	指定特別支援学校	8月20日
307	特別支援学校技能検 定研修会	特支	職業教育に関する知識・ 理解 指導技術	特別支援学校の職業教育充実のための、 熊本県特別支援学校技能検定に係る取組 の充実及び教員の指導力の向上を図る。	・実践報告 ・研修「指導書及び評価表についての共通理解」 ・エリア会議	県立特別支援 学校技能検定 に係る特別支 援学校担当教 員1人	1日	県庁会議室	6月16日
308	教育課程研修(特別支 援学校)	特支	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 特別支援教育	特別支援教育の動向や特別支援学校の 学習指導要領に関する説明及び教育課程 編成等について協議等を行うことで、特別支 援学校等における教育の改善及び充 実を 図る。	・外部講師による講話 ・特別支援学校におけるカリキュラム・マネジメントの実際 報告 ・グループ協議	県立特別支援 学校各2人	1日	指定特別支援学校	8月6日
309	新任教務主任研修(特別 支援学校)	特支	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 児童生徒支援 特別支援教育	新任の教務主任に対し、当面する実務上 の諸問題について協議するとともに、その職 務に必要な研修を行い、教務主任としての 資質向上を図る。	・実務経験者による講話 ・本県におけるカリキュラム・マネジメントの実際について ・グループ協議	県立特別支援 学校新任教務 主任	半日	本庁会議室	5月10日
310	教務主任研修(特別支 援学校)	特支	教職としての素養 組織における連携・協働 特別支援教育	県立特別支援学校の教育課程の実施状況 等を確認することにより、各学校における適 正・適切な教育課程の編成及び実施に資す る。	・各校教務主任への教育課程に関する指導助言とヒアリ ング(各校30分)	県立特別支援 学校各1人	1日	本庁会議室	5月28日
311	学部主事等研修	特支	教職としての素養 組織における連携・協働 特別支援教育	特別支援学校の今日的課題への具体的な 対応や学部主事等としての自覚や在り方 について協議等を行うことを通し、特別支援 学校の学部主事等の資質向上を図り、もっ て本県特別支援教育の充実・発展に資する。	・講話(学部主事に期待することなど) ・説明(特別支援教育推進上の県の施策など) ・協議	県立特別支援 学校の学部主 事等約70人	1日	指定特別支援学校	6月25日
312	防災主任研修会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働 学校安全	熊本地震から学んだ貴重な経験を生か し、「自助」「共助」のために主体的に行動で きる児童生徒を育成するための防災教育の 充実を図るとともに、今後も想定される自然 災害から児童生徒の命を守り抜くための教 職員の災害対応能力向上や学校防災体制 のさらなる強化を目的とする。	・行政説明 ・講演 ・演習 ・協議	小・中・義務教 育学校、高等 学校、特別支 援学校(防災 主任) 約500人	半日	①球磨地域振興局 ②芦北地域振興局 ③天草教育会館 ④八代地域振興局 ⑤七城公民館 ⑥玉名市民会館 ⑦宇城総合庁舎 ⑧熊本県庁 ⑨阿蘇地域振興局	①5月20日(球磨) ②5月25日(芦北) ③6月3日(天草) ④6月4日(八代) ⑤6月8日(菊池・山鹿) ⑥6月10日(玉名) ⑦6月17日(宇城) ⑧6月22日(上益城) ⑨6月24日(阿蘇)
313	防災教育に関する研修 会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働 学校安全	学校での防災教育の在り方やその指導方 法を学び、各学校の防災教育の充実を図 る。	・行政説明 ・講演 ・模擬授業 ・協議	上益城管内 小・中、高等 学校(防災主 任) 40名程度	半日	上益城管内の学校	8月後半

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
314	県立学校教育相談コーディネーター研修会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 児童生徒支援	いじめや不登校をはじめとする生徒指導上の諸課題の解決に資するため、教育相談におけるカウンセリングマインドに関する研修を行い、教育相談事業の効果的な推進を図る。	・いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要説明 ・教育相談に関する状況やSC・SSWの活用に関する状況説明 ・教育相談指導者養成研修(中央研修)の復講や教育相談に関する講話等	県立学校(教育相談担当者) 70人	1日	オンライン研修	6月9日
315	学校安全教室講習会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働 学校安全	学校における安全教室(交通安全、生活安全、災害安全)の充実を図るため、担当者の資質向上を図る。	・行政説明 ・講演 ・協議	小・中・義務教育・高等・特別支援学校の学校安全担当者 約500人	1日	県立劇場演劇ホール	7月14日
316	県立学校生徒指導担当者研修会	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 児童生徒支援	いじめや不登校をはじめとする生徒指導上の諸課題の解決に資するため、生徒指導主事を対象にいじめや生徒指導の問題行動への対応に関する研修を行い、生徒指導の実践的指導力の向上を図る。	・いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要説明 ・スクールサインの活用について ・生徒指導指導者養成研修(中央研修)の復講や生徒指導に関する講話等	県立学校(生徒指導担当) 50人	1日	オンライン研修	4月27日
317	健康教育担当者研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 児童生徒支援 保健教育 保健室経営・保健管理 学校給食・食育	健康教育の当面する課題と保健主事等の職務について理解を深め、各学校における健康教育の充実推進を図る。	保健教育、保健管理、学校給食・食育指導の推進について 有識者講演及びシンポジウム グループワーク	小・中・義務教育・高等・特別支援学校の健康教育担当者 約500人	1日	市民会館シアーズホーム夢ホール	7月1日
318	高等学校等体育主任会	体育	社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 特別支援教育 安全管理	学校体育に関する施策や諸問題について研修を深め、本県の学校体育・スポーツの充実・発展と体育主任の資質向上を図る。	行政説明 講話 グループワーク	体育主任	半日	県庁地下大会議室	4月20日
319	認定こども園・幼稚園・保育所等熊本県研究協議会	義務	教職としての素養 社会性 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学校経営 学校としての連携・協働	幼稚園教育理解推進事業の協議主題に基づいた実践発表及び研究協議を行うことにより、日頃の実践を振り返り、今後の教育・保育の充実・改善を図り、本県の就学前教育の振興・充実に資する。	・講話 ・実践発表・協議	認定こども園・幼稚園・保育所等の教職員 200人	1日	県庁地下大会議室 テルサ	8月24日
320	幼・保等、小、中連携セミナー	義務	指導技術 児童生徒支援 組織における連携・協働	幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校等の関係者が合同で研修することにより、お互いの教育機能を理解し合うとともに、地域の実態に応じた連携の充実を図る。	行政説明 研修 演習(幼・保等と小学校、中学校の接続について、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の共有)	認定こども園・幼稚園・保育所・地域型保育事業所の園(所)長、保育教諭・幼稚園教諭・保育士等 小中学校等代表	半日	県内各会場	7月～10月
321	小中学校キャリア教育研修会	義務	指導技術 生徒指導 学校としての連携・協働 学級・学年経営 学校経営	キャリア教育の推進における課題を解決するため、説明、研究授業、研究協議等を行い、キャリア教育の充実に資する。	講話 実践発表 授業参観(キャリア教育の視点からの授業改善) 協議	小中学校キャリア教育担当者等 教諭376人 行政関係42人	半日(3h程度)	庁舎、市町内施設等	6月～10月
322	英語担当者指導法研修会	義務	教職としての素養 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学校としての連携・協働	新学習指導要領による小中学校英語教育に関する理解を深めるとともに、英語担当教員の指導力向上を図る。	各教育事務所等で実施。研修内容等については、各教育事務所にて検討。 主な内容は以下のとおり。 県教育委員会挨拶 公開授業 授業研究会 協議・演習等	小中学校英語担当教員各学校1人参加	半日	各教育事務所が定めた会場	10月～12月各管内実施
323	JETプログラム外国語指導助手の指導力等向上研修	義務	教職としての素養 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援	外国語指導助手(ALT)及び英語担当教員が、英語教育についての理解を深め、効果的かつ適正な職務遂行を行うために必要な知識等を習得する。	・演習 ・協議 ・パネルディスカッション	外国語指導助手 小・中・高等学校の英語担当教員 約200人	2日	ホテル熊本テルサ	11月25日 11月26日

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
324	道徳教育パワーアップ 研究協議会	義務	教職としての素養 組織における連携・協働 指導技術 学校としての連携・協働	道徳教育推進教師等を対象として、講話 や実践発表等を実施し、道徳科の充実を図 る。	行政説明 講演 演習 実践発表	道徳教育推進 教師等1名参 加	1日	ホテル熊本テルサ	7月28日
325	日本語支援連絡協議 会	義務	教職としての素養 使命感・倫理観 指導技術 児童生徒支援 学校としての連携・協働	日本語指導が必要な児童生徒の適切な受 入れ対応や、日本語指導の方法等、支援体 制の充実に資する。	行政説明 外部講師を招聘しての講話 班別演習及び協議	各市町村教育 委員会担当 者、関係学校 担当者	1日	県庁	10月27日
326	新任人権教育主任講 習会	人同	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働	「人権尊重の精神に立った学校づくり」を進 めるために人権教育主任として必要な業務 や知識を理解し、人権教育の推進体制の要 としての自覚を高める。	・行政説明 ・演習	公立小中学 校・義務教育 学校・県立学 校の新任人権 教育主任 約100人	1時間程 度	オンライン研修	未定
327	公立小中学校・義務教 育学校人権教育主任 研修会	人同	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学校としての連携・協働	「人権尊重の精神に立った学校づくり」の 推進に向け、行政説明及び演習・協議等を 通して、人権教育主任の資質及び実践的な 指導力の向上を図る。	・行政説明 ・演習 ・協議	公立小中学 校・義務教育 学校の人権教 育主任	半日	各教育事務所管内	未定
328	県立学校人権教育主 任研修	人同	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働	「人権尊重の精神に立った学校づくり」に 向け、人権教育の充実・深化を図る。 ・人権の意義・重要性の理解や様々な人権 問題についての基本的認識を深めるととも に、実践的指導力の向上を図る。 ・各学校における人権教育の課題解決を組 織的に進めるため、職務遂行能力の一層の 向上を図る。	・講演 ・行政説明 ・研究協議	県立学校(県 立中学校を除 く)の人権教 育主任 約80人	半日	市民会館シアーズホー ム夢ホール(熊本市民 会館)	6月3日
329	担当指導主事等研修 会	人同	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学校としての連携・協働	「人権尊重の精神に立った学校づくり」の 推進に向け、これまでの取組の成果と課題 を基に今後の人権教育推進に係る方向性等 について理解を深め、研修及び協議等を通 して、人権教育担当者としての指導力の向 上を目指す。	・行政説明 ・演習 ・協議	各教育事務所 指導主事、市 町村教育委員 会人権教育担 当者等 約25人	半日 半日 計1日	県庁	4月7日(第1回) 9月3日(第2回)
330	学校事務センター給 与・旅費グループ長及 び共同実施主任研修	学人	※教育行政(教育事務) 職 人事・人材育成基本 方針による	市町村立学校の事務センターのグループ 長及び共同実施主任を対象に実務における 書類審査の能力を高めるとともに、リーダ ーとしてのマネジメント力の向上を図る。	・関係法令や制度内容等の説明 ・書類審査方法の確認 ・学校マネジメント研修 ・事例報告、意見交換等	市町村立学校 学校事務職員 のうち約90人	1日	水前寺共済会館	6月4日
331	学校司書実践研修	センター	※「くまもとの教職員像」 教職員としての基本的 資質 教職員としての専門性	司書(市町村費含)に対して、学校図書館 の意義と司書の役割について研修を行うこ とにより、学校図書館の活性化と学校教育 の利便性を向上させる。	・県立図書館の業務見学 ・学校図書館の意義と司書の役割について ・学校図書館における活動について	小・中・義・高・ 特 学校司書 30人	1日	県立図書館	5月31日

【選択研修】

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
401	インテル21世紀型スキルPBL研修	教政	指導技術	学習指導要領に根差した課題解決型の授業づくりの基礎の習得を図る。	課題解決型の授業づくりについての講話 先進的事例の紹介及び講話	小・中・義務教育学校の教員等(希望者50人)	1日	職場・自宅	未定
402	心のきずなを深めるシンポジウム	学安	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 生徒指導 児童生徒支援	いじめの問題について理解を深め、学校と家庭、地域及び関係機関が一体となっていじめを許さない学校・学級づくりを推進する機運を高める。	・学校におけるいじめの防止等の取組や研究指定校における実践発表 ・情報集約担当者の役割と業務内容を説明 ・教職員、教育関係者及び保護者等の意識向上を図る取組等についての分科会 ・いじめの重大事態の発生防止に資する講演等の実施	小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校、教育行政関係、保護者等240人	1日	県庁地下大会議室	6月15日
403	小学校(幼稚園)体育指導力向上研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 特別支援教育 学校安全	小学校体育及び幼稚園の運動遊び等の指導の充実・推進を図り、学習指導要領等を踏まえた学習指導の充実・推進に資する	実技指導 講話 グループワーク	希望者(各学校1人)	1日	県北・県南各会場	6月4日(前期A:県南) 6月10日(前期A:県北) 6月11日(前期B:県北) 6月15日(前期B:県南) 7月27日(後期:県南) 7月30日(後期:県北)
404	小学校水泳実技・水難事故防止セミナー	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 特別支援教育 学校安全	小学校における水遊び・水泳指導のための実技研修や水難事故を防止するための応急手当等を学ぶことにより、指導力の向上と事故防止を図る。	実技指導 講話 グループワーク	希望者	1日	県立総合体育館プール	6月17日
405	中学校保健体育指導力向上研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 特別支援教育 学校安全	中学校保健体育担当教員としての資質の向上を図り、学習指導要領を踏まえた学習指導の充実・推進に資する。	実技指導 講話 グループワーク	希望者(各学校1人)	1日	県民総合運動公園内施設	6月9日
406	高等学校等保健体育指導力向上研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 特別支援教育 学校安全	高等学校保健体育担当教員としての資質向上を図り、学習指導要領を踏まえた学習指導の充実・推進に資する。	実技指導 講話 グループワーク	高等学校及び特別支援学校の保健体育担当教員	1日	熊本市内県立学校	6月22日
407	運動部活動指導教職員(部活動指導員含む。)及び地域の指導者指導力向上研修会	体育	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 特別支援教育 学校安全	中・高等学校の運動部活動に従事している教職員(部活動指導員含む。)及び地域指導者の指導者としての資質・能力の向上を図るため実施するもの。	行政説明 人権教育 講話 グループワーク	希望者(各学校1名程度)及び学校が部活動指導者として委嘱している地域指導者	1日	県内会場	8月6日
408	創造 熊本の教育チャレンジゼミ	義務学人	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 学校経営 学校としての連携・協働	職務に関する高度な知識や技能を習得する研修を通して、特色ある教育活動を自律的に推進するマネジメント力や実践的指導等の向上を図ることで、各地域において中心的な役割を担い、学校を活性化させる管理職候補を育成する。	・講話 ・演習 ・課題研究等	各管内の推薦を受けた小中学校及び義務教育学校の中堅教員(20～40人程度)	2日	熊本県庁(予定)	6月8日(第1回) 1月20日(第2回)
409	「熊本の学び」スタート・アップ研修	義務	指導技術 学級・学年経営 学校経営	カリキュラム・マネジメントや授業改善を推進するため、「熊本の学び」の考え方についてきめ細かく説明し、理念の浸透を図る。また、各学校の特色を生かした「熊本の学び」の実践化を図る。	「熊本の学び推進プラン」の概要説明 演習 協議	管内や市町村単位で行われる研究主任会や教務主任会、近隣の学校(中学校区など)との合同研修会など	90分程度	県内会場	6月～1月
410	幼児教育アドバイザー育成研修	義務	管理職としての素養 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学校経営 学校としての連携・協働 管理職としての専門性	県内の幼稚園・認定こども園・保育所等において、幼児教育の質の向上を図るため、保育士、幼稚園教諭、保育教諭等が学び合い、園所や各地域においてリーダー的存在として、助言等を行うことができるような実践力を高める。	【第1回】 ・講話「幼児理解を深める」 ・演習「幼児理解と評価」 【第2回】 ・講話「園内研修の在り方・進め方」 ・演習「園内研修の計画」 【第3回】 ・講話「幼児理解と評価」 ・演習「実践報告及び今後に向けて」	各市町村において推薦する2人程度及び各園等において受講を希望する者1人程度計:約90人	半日	県庁地下大会議室	6月30日(第1回) 10月28日(第2回) 2月16日(第3回)
411	「地域と学校の連携・協働」関係者等研修	社教	学校経営 学校としての連携・協働 管理職としての専門性	「社会に開かれた教育課程」の実現のために必要なCSと地域学校協働活動の一体的な推進方策等について学ぶ	行政説明 講話 グループワーク	希望者(学校関係者、行政関係者、推進員等)	1日	県庁	11月5日
412	「地域と学校の連携・協働」推進実践交流会	社教	学校経営 学校としての連携・協働 管理職としての専門性	「社会に開かれた教育課程」の実現のために必要なCSと地域学校協働活動の一体的な推進方策等に関する実践から学ぶ	行政説明 実践事例発表 グループ協議	希望者(学校関係者、行政関係者、推進員、地域住民等)	半日	各教育事務所	未定(各教育事務所で計画)
413	教職員のための菊池恵楓園現地研修	人同	教職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学校としての連携・協働	菊池恵楓園で野現地研修を通して、ハンセン病回復者等の人権についての基本的認識を深め、人権教育の推進に向けた資質及び実践的な指導力を高める。	・フィールドワーク ・講話 ・行政説明 ・協議	県内の教職員(4年間で全ての学校から参加)	1日	菊池恵楓園	8月20日

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
414	人権教育フォーラム	人同	教職としての素養 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学校としての連携・協働 管理職としての専門性	「人権尊重の精神に立った学校づくり」 に向けて、地域の実情に応じた研修の 実施により、教職員の人権に関する知 的理解を深め、実践的な指導力を高め る。	行政説明 ・演習 ・協議	公立小中 学校・義務教育 学校・県立学 校の教職員	半日	各教育事務所管内	未定(9月～11月)
415	学力向上を目指すICT 活用授業実践研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 児童生徒支援 特別支援教育	ICTを効果的に活用した学習指導の改 善を推進し、児童生徒の情報活用能 力を育成するための指導力向上を目 指す。	情報モラル ・情報活用能力の育成とICTの効果的な活用 ・ICTを活用した授業設計	小・中・義・高・ 特 教頭、主幹教 諭、指導教諭、 教諭、養護教 諭、栄養教諭、 事務職員、実 習教師、講師、 養護助教諭 15人	1日	県立教育センター	8月19日
416	Let's enjoy プログラ ミング教育	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働	学習指導要領の改訂に伴い変化する プログラミング教育の実施に向けて、環 境設計や教材等の開発・改善を行う。	・プログラミング教育の概要 ・プログラミング体験 ・実践報告	小・中・高・特 教頭、主幹教 諭、指導教諭、 教諭、実習教 師、講師 30人	1日 (希望者 のみ)	(オンライン) 各勤務校 (希望者) 県立教育センター	(オンライン) 6月～12月 (希望者) 8月18日
417	Let's study プログラ ミング教育	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働	プログラミング教育に向けて、指導人 材の養成と教材等の開発・改善を行う。	・プログラミング教育の概要 ・プログラミング操作体験 ・プログラミング環境の構築 ・アルゴリズムとプログラミング	高・特 教頭、主幹教 諭、指導教諭、 教諭、実習教 師、講師 30人	1日 (希望者 のみ)	(オンライン) 各勤務校 (希望者) 県立教育センター	(オンライン) 6月～12月 (希望者) 8月18日
418	特別支援教育研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 指導技術 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働	インクルーシブ教育システムの構築に 向けた取組や特別支援教育に係る諸課 題への対応等、特別支援教育に関する 専門性の向上を図る。	・学校におけるキャリア教育及び卒業後の働 く生活 ・自立活動の実践	小・中・義・高・ 特 教頭、主幹教 諭、指導教諭、 教諭、養護教 諭、栄養教諭、 事務職員、実 習教師、講師、 養護助教諭 30人	1日	県立教育センター	8月5日
419	リーダー養成研修	センター	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	次期リーダーとしての役割と職務につ いての理解を深め、実践的指導力の養 成や資質の育成を図る。	・講話「コーチングの在り方」 ・講義・演習「学校マネジメント」 ・講話「リーダーの在り方」 ・演習・協議「ケースメソッド」	県立学校(県 立中学校を含 む) 教諭 55人	1日	水前寺共済会館(予定)	8月17日
420	養護教諭キャリアアップ 研修	センター	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 保健室経営・保健管理 学校安全	学校保健についての専門的な講義や 演習等を通じて、養護教諭の資質能 力を高め、実践的指導力と学校保健活 動の組織的な推進のためのマネジメント 力の向上を図る。	・学校保健マネジメント ・生徒指導と養護教諭 ・多様化する保健室の機能と養護教諭の専 門性	小・中・義・高・ 特 養護教諭 20人	1日	県立教育センター	8月19日
421	教育行政(教育事務) 職員ステップアップ研修	学人	※教育行政(教育事務) 職 人事・人材育成基本 方針による	教育行政(教育事務)職員を対象に、 異なる校種(業種)の実務研修等を行 い、異動後における事務処理の円滑化 及び事務処理に対する不安の解消を図 る。	・県費経理 ・学校徴収金 ・学校訪問 ・各種システム研修	3年目及び6年 目の教育行政 (教育事務)職 員のうち希望 者	1日	県庁	2月7日

【特別研修】

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
501	知事部局派遣研修	教 政	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 児童生徒支援 特別支援教育 学校としての連携・協働 管理職としての専門性	知事部局等において、行政実務に従事させることにより県行政についての視野を広め、能力の開発に資することを目的とする。	市町村立学校及び県立学校の教員が1～2年間、知事部局において、行政職員の一員として業務に携わる。 ・派遣期間 義務教育教員(原則1年) 県立学校教員(原則2年)	市町村立及び県立学校教員 7人程度	1年 又は 2年		
502	学校組織マネジメント指導者養成研修	教 政	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	学校ビジョンの構築、学校教育目標の具現化をマネジメントする専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、学校、地域の教職員の専門性向上を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。	独立行政法人教職員支援機構の計画による ・講義 ・実践発表 ・演習	小・中・県立学校等教員 2人程度	3日	オンライン	独立行政法人教職員支援機構の計画による。
503	学校教育の情報化指導者養成研修	教 政	学校教育の情報化を組織的に推進する指導者としての専門性	「GIGAスクール構想の実現」を踏まえ、児童生徒1人1台端末の環境におけるICTの効果的な活用を一層促進するとともに、新学習指導要領において、「情報活用能力」が全ての学習の基盤となる資質・能力として位置付けられたことを踏まえ、その育成のため、教師のICT活用指導力の向上を図る。	社会的背景と教育の情報化 情報活用能力の育成 教科等の指導におけるICT活用 学校及びその設置者等における教育の情報化に関する推進体制 学校の臨時休業等におけるICTを活用した取組、研修成果の活用	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭	3日	県立教育センター、職場、自宅	独立行政法人教職員支援機構の計画による。
504	職業教育担当教員先端企業等研修	高 校	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術	高等学校の産業教育担当教員に対して産業現場での研修や新技術に関する実技講習等を行い、知識・技術の習得と指導力の向上を図る。	民間企業等において、自ら設定した教科・科目のテーマに沿って、現場で指導を受けながら新しい知識、技術の習得を行う。	教職経験5年以上の職業教育担当教員 5人程度	1週間 程度	県内の企業、試験研究機関、その他県教育委員会が認めた者	夏季休業中
505	国内留学派遣研修	高 校	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学級・学年経営 学校としての連携・協働	教員を長期にわたり大学や研究機関等に留学させることにより、その資質と指導力の充実に図る。	・産業教育	高校:1人	6ヶ月 又は 1年	産業界 県内大学 等	
		義 務 休 止	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学校経営	教員を長期にわたり大学や研究機関等に留学させることにより、その資質と指導力の充実に図る。	・理科教育 ・教科等教育 ・情報教育	小・中学校及び義務教育学校 ※人数は未定	6か月 又は 1年	熊本大学 県立教育センター	
506	大学院派遣研修	高 校	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 学級・学年経営 学校としての連携・協働	社会の変化に対応した学校教育を展開するため、教師としての専門性を高めるとともに、人間性のかん養を図る。	・専門分野の研究	高校 1人程度	1年 又は 2年	熊本大学 県立大学等	
		義 務	管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性	社会の変化に対応した学校教育を展開するため、教師としての専門性を高めるとともに、人間性のかん養を図る。	【熊本大学教職大学院】 ・現場との共同研究を含む実践科目や専門科目等による研究 【熊本県立大学大学院】 ・情報管理や公共経営等に関する専門分野の研究	小・中学校及び義務教育学校教員 8人程度	2年	熊本大学 県立大学等	
507	教職員等中央研修	高 校 義 務 学 体 保 人	管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 学校経営 学校としての連携・協働 学校安全 管理職としての専門性 (生徒指導・生徒指導研修) ※教育行政(教育事務)職 人事・人材育成基本方針による	校長、教頭、中堅教員、事務職員に対し、学校の管理運営、学習指導などの諸問題について、それぞれの職務に必要な研修を行い、その職務遂行能力と指導力の向上を図る。	独立行政法人教職員支援機構等の計画による ・校長研修 ・副校長・教頭等研修 ・中堅教員研修 ・次世代リーダー研修 ・生徒指導指導者養成研修 ・健康教育指導者養成研修 ・食育指導者養成研修 ・安全教育指導者養成研修 ・事務職員 ・体力向上マネジメント指導者養成研修 等	小・中・県立学校教員、事務職員、指導主事 人数は未定	各日程	独立行政法人教職員支援機構等	独立行政法人教職員支援機構の計画による。
508	指導力サポート研修	高 校 義 務 特 支	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級経営	指導に課題がある教諭等の資質能力の向上を目的とし、その課題解決のため、主に所属校で研修を実施する。	学習指導、生徒指導・学級経営等を適切に行うことができるよう指導力及び教員としての資質の向上を図る。(授業研究、理論研修、講話・演習、課題別研修、社会体験研修)	県教育委員会で決定した人数	6か月 (校外研修最大5日間含む)	所属校等	令和3年4月1日～令和3年9月30日

番号	研修名	所管	伸ばす主な資質	目的	内容	対象者 参加人数	日数	会場	日程等
509	指導改善研修	高義 校務 特支	教職としての素養 社会性 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 生徒指導 児童生徒支援 特別支援教育 学級経営	指導が不適切な教諭等の課題を明確にし、その課題解決のため、一定期間の集中した研修を通して指導力等を回復させ、学校現場へ復帰させる。	学習指導、生徒指導・学級経営等を適切に行うことができるよう指導力及び教員としての資質の向上を図る。(基本研修、選択研修、課題研究、社会体験研修、実践的研修)	県教育委員会で決定した人数	1年 (延長6 か月)	教育センター及び県教育委員会が指定する研修場所	令和3年4月1日～令和4年3月31日
510	国立特別支援教育総合研究所研修	特支	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校としての連携・協働	障がいのある幼児児童生徒の教育を担当する教職員に対し、専門的知識及び技術を深めるために必要な研修を行い、その指導力の一層の向上を図り、今後の指導者としての資質を高める。	国立特別支援教育総合研究所の研修事業計画による。	特別支援学校教員1人	60日程度	国立特別支援教育総合研究所	令和3年4月1日～令和4年3月31日
511	「特別支援教育」国内留学生派遣研修	特支	教職としての素養 社会性 管理職としての素養 使命感・倫理観 組織における連携・協働 指導技術 児童生徒支援 特別支援教育 学級・学年経営 学校としての連携・協働	特別支援教育に携わる教員等を留学させることにより、特別支援教育に必要な専門的知識、技術等を習得させ、支援者として、及び校内支援体制を推進する中心的な存在としての専門性の向上を図る。	国立大学法人熊本大学特別支援教育特別専攻科の計画による。	小・中:3人 高・特:4人	1年	熊本大学	令和3年4月1日～令和4年3月31日

平成29年12月12日
熊本県教育委員会

「熊本県教員等の資質向上に関する指標」の活用にあたって

急速に変化する社会の状況を踏まえ、教員の養成・採用・研修を通じた新たな体制の構築等のため、平成29年4月に「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」が施行されました。校長及び教員（以下、「教員等」という。）が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確にするため、公立の小学校等^{*1}の任命権者には、教員等としての資質の向上に関する指標の策定が求められています。

- *1 公立の小学校等の範囲は、公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、幼稚園及び幼保連携型こども園。
「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」より
(平成29年4月1日)

「熊本県教員等の資質向上に関する指標」は、「くまもとの教職員像^{*2}」を踏まえ、各教員等のキャリアアップや人材育成の道しるべとして、経験段階に応じて求められる資質・能力（以下、能力を含め「資質」という。）を明確化したものです。

なお、本指標の活用にあたっては、指標に示した画一的な姿を求めるものではなく、指標をもとに各教員等の長所や個性の伸長を図ることに留意することとされています。^{*3}

- *2 保護者や教職員自身など、教育の内外から求められる教職員の目指すべき姿を示すものとして作成したもの。「くまもとの教職員像」(平成17年4月5日熊本県教育委員会)
*3 指標は教員の人事評価と趣旨・目的が異なるものであることに留意すること。
「教育公務員特例法等の一部を改正する法律等」施行通知より(平成29年4月1日)

1 指標の活用例

管理職 (校長・副校長・教頭)	○学校経営ビジョンに基づく、組織的な人材育成のため ○自己の現時点における資質を把握し、資質向上を図るため
教員	○自己の現時点における資質を把握するため ○自己のキャリアアップを図るための目標設定の参考とするため
教員志願者	○求められる教員像を把握するため ○教員としてのキャリアを俯瞰し、自己の学修の目標や方向を設定する際の参考とするため
教育委員会	○長期的な視点に立った人材育成のため ○研修体系の再構築及び体系化、研修プログラム等の開発のため
教員養成機関	○教職課程、教職大学院のカリキュラムの改善のため ○教育委員会等と連携した研修プログラム等の開発・研究のため

2 経験段階（キャリアステージ）について

採用段階後のキャリアステージについては、経験年数を目安として5つの期に設定しました。

経験段階(経験年数)	概要
採用段階	養成段階・採用前と基礎期をつなぐ段階
① 基礎期(1～5年)	学校組織の一員として教育活動を展開し、学習指導・生徒指導、学級経営などの実践的指導力の基礎を身に付ける段階(将来にわたる教員としての基本的姿勢を固める時期)
② 向上期(6～10年)	学校組織の一員として職務を遂行する中で学校教育全般についての視野を広げ、実践的指導力を高める段階
③ 充実期(11～16年)	ミドルリーダー*4として、高度な知識や技能を習得・活用し、実践的指導力を発揮するなど、学校経営に資する専門性を身に付ける段階 *4 若手教員育成の要としてリーダーシップを発揮する中堅教員
④ 発展期(17～25年)	学校の中核教員*5として全校的視野を持ち、連携・協働による指導力を発揮するとともに、より高度な知識や技能を習得・実践し、学校経営に資する専門性を高める段階 *5 学校組織の中核的役割を担い、学校内外で専門性やリーダーシップを発揮するベテラン教員
⑤ 円熟期(26年～)	・指導者として、これまでの豊富な経験を活かして他の教員へ指導・支援を行うなど、広い視野で学校経営に資する専門性を発揮する段階 ・管理職として、優れた教育的識見を持ち、高い理念のもとリーダーシップを発揮し、学校経営を推進する段階

※ 教員等の資質は必ずしも経験年数にはよらないことから、経験段階は、学校現場や個人の状況・役割等に依りて資質の向上を図る際の目安としてください。

3 資質について

「くまもとの教職員像」に示された、教育に携わる者の人間性や社会性を示す「基本的資質」と教育に關係する専門的知識や技能等を示す「専門性」に対応して、大きく2つに整理し、それぞれ2項目ずつ4つの資質の柱で構成しています。

資質の柱を構成する要素については下表の例のとおりです。各段階の研修で資質の向上を図ります。

教職員像	資質の柱	資質を構成する要素の例
基本的資質	総合的人間力	教育的愛情、豊かな人間性、豊かな人権感覚、幼児児童生徒への共感的態度、個性の伸長、個に合わせて考える力、気づき力、コミュニケーション力、信頼関係の構築、想像力、情報モラル、論理的思考力、課題解決能力、人材育成力、判断力、調整力、決断力、行動力 等
	使命感・倫理観	倫理観、使命感、責任感、自己理解・自己管理能力、自ら学び続ける意欲及び研究能力、他教員との連携及び協働、若手教員の育成に係る連携及び協働 等
専門性	実践的指導力等	教育の方法及び技術、授業改善、情報機器及び教材の活用、幼児児童生徒理解、学習指導、生徒指導、教育相談、進路指導及びキャリア教育、教育的ニーズの把握、いじめ等児童生徒の問題行動への対応、不登校児童生徒への支援、合理的配慮、特別な配慮を必要とする(外国人や障がいのある)幼児児童生徒への指導 等
	マネジメント力	教育課程の編成、児童生徒理解に基づく学級・学年経営、ガイダンス及びカウンセリング、学校経営、集团的指導力、カリキュラム・マネジメント、家庭や地域社会・関係機関との連携及び協働、学校間の連携、学校安全への対応、リーダーシップ、企画力、交渉力、危機管理 等

4 対象職種等について

本指標は、全ての教員等に対応するものとして策定しました。養護教諭等については、具体的な業務の内容に応じて、下表のとおり読みかえるものとします。

また、管理職においては、教育者としての資質のほか、組織のマネジメント力等が求められます。

そのため、円熟期において、専門的な知識及び技能を有し他教員のメンターとなる「指導者」と、学校経営を担う「管理職」の2つの役割に応じて、それぞれの指標を示しています。

※ 管理職として学校経営に携わる事務長についても、本指標（円熟期）を参考として活用してください。

職種	読みかえの例
養護教諭	・「学習指導」→「保健教育」「健康相談」 ・「学級経営」→「保健室経営」「保健管理」
栄養教諭	・「学習指導」→「食に関する指導」 ・「学級経営」→「学校給食管理」
幼稚園教諭	・「学校」→「園」 ・「児童生徒」→「幼児」 ・「学習指導・生徒指導」→「幼児教育」

各研修における「伸ばす主な資質」について

※「熊本県教員等の資質向上に関する指標」及び「指標の活用にあたって」に記載の資質を構成する要素の例をもとに、各研修において伸ばす主な資質を分類しました。研修受講の際は、研修概要に記載の「伸ばす主な資質」を参考に目標設定等をされるとともに、研修受講後の振り返りにもご活用ください。

くまもとの教職員像	熊本県教員等の資質向上に関する指標						資質を構成する要素の例 ※「指標の活用にあたって」より	伸ばす主な資質	
	経験段階 ※ 経験年数は およその目安	採用段階	基礎期 (1～5年)	向上期 (6～10年)	充実期 (11～16年)	発展期 (17～25年)			円熟期 (26年～)
教職員としての基本的資質	総合的 人間力	人権尊重の精神を基盤に教育的愛情を持って行動し、コミュニケーション力や協調性を発揮する能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、コミュニケーション力を発揮し信頼関係を構築する能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、良好な信頼関係を構築し、状況に応じて的確に発言・行動する能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、ミドルリーダーとしての的確な状況判断能力とその判断に基づく行動力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、中核教員としての全校的視野に立った実践的指導力・各種調整能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚を持ち、指導者として他の教職員へ助言・支援するなど、学校全体の指導的役割を果たすことのできる実践的指導力・各種調整能力。	豊かな人権感覚、教育的愛情、豊かな人間性、幼児児童生徒への共感的態度、個性の伸長、教育的ニーズの把握、個に合わせて考える力、気づく力、想像力、情報モラル 等	教職としての素養
			教育公務員としての使命感・倫理観を持ち、組織の一員として職責を遂行する謙虚な姿勢。	教育公務員としての使命感・高い倫理観を持ち、若手職員に指導・助言を行うなど、学校運営の一翼を担おうとする意識。	教育公務員としての使命感・高い倫理観を持ち、ミドルリーダーとして後輩職員に適切な指導を行うなど、学校運営の一端を担おうとする意識。	教育公務員としての高い使命感と職責の重要性を踏まえた倫理観をもち、中核教員としての全校的視野に立った指導力を発揮しようとする姿勢。	教育公務員としての崇高な使命感と職責の重要性を踏まえた深い倫理観をもち、指導者として学校目標の達成のために常に新しい知識を求め、実践に生かそうとする姿勢。	使命感、倫理観、責任感、自己理解・自己管理能力、自ら学び続ける意欲及び研究能力 等	使命感・倫理観
			教育公務員としての使命感・倫理観を持ち、組織の一員として職責を遂行する謙虚な姿勢。	教育公務員としての使命感・高い倫理観を持ち、若手職員に指導・助言を行うなど、学校運営の一翼を担おうとする意識。	教育公務員としての使命感・高い倫理観を持ち、ミドルリーダーとして後輩職員に適切な指導を行うなど、学校運営の一端を担おうとする意識。	教育公務員としての高い使命感と職責の重要性を踏まえた倫理観をもち、中核教員としての全校的視野に立った指導力を発揮しようとする姿勢。	教育公務員としての崇高な使命感と職責の重要性を踏まえた深い倫理観をもち、管理職として“夢の実現を目指す熊本の人づくり”に向けた学校目標の達成に全力を傾けようとする姿勢。	使命感、倫理観、責任感、自己理解・自己管理能力、自ら学び続ける意欲及び研究能力 等	使命感・倫理観
			教育公務員としての使命感・倫理観を持ち、組織の一員として職責を遂行する謙虚な姿勢。	教育公務員としての使命感・高い倫理観を持ち、若手職員に指導・助言を行うなど、学校運営の一翼を担おうとする意識。	教育公務員としての使命感・高い倫理観を持ち、ミドルリーダーとして後輩職員に適切な指導を行うなど、学校運営の一端を担おうとする意識。	教育公務員としての高い使命感と職責の重要性を踏まえた倫理観をもち、中核教員としての全校的視野に立った指導力を発揮しようとする姿勢。	教育公務員としての崇高な使命感と職責の重要性を踏まえた深い倫理観をもち、管理職として“夢の実現を目指す熊本の人づくり”に向けた学校目標の達成に全力を傾けようとする姿勢。	使命感、倫理観、責任感、自己理解・自己管理能力、自ら学び続ける意欲及び研究能力 等	使命感・倫理観
教職員としての専門性	実践的 指導力等	養成段階で身に付けるべき教科の専門性を基盤にした学習指導・生徒指導等の基礎的な能力。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務の基礎的な知識や技能を習得し、活用する能力。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する実践的・専門的な知識、技能を習得し活用する能力。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する高度な知識、技能を習得し、ミドルリーダーとして効果的に実践できる能力。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関するより高度な知識や技能を習得し、中核教員として全校的視野に立った実践的指導力を学校内外へ発揮する能力。	学習指導・生徒指導等をはじめ指導者としての豊かな経験とさらに高度な知識、熟練した技能を活かした教職員の力量形成を支援・指導する能力。	教育の方法及び技術、授業改善、情報機器及び教材の活用、学習指導 等	指導技術
			安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核教員として全校的視野を持ち、学校外との連携・協働ができる広範な経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力、資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	生徒指導、進路指導及びキャリア教育、いじめ等児童生徒の問題行動への対応 等	生徒指導
			安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核教員として全校的視野を持ち、学校外との連携・協働ができる広範な経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力、資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	幼児児童生徒理解、教育相談、不登校児童生徒への支援、合理的配慮 等	児童生徒支援
			安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核教員として全校的視野を持ち、学校外との連携・協働ができる広範な経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力、資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	特別な配慮を必要とする幼児児童生徒への指導（障がいのある幼児児童生徒、外国人幼児児童生徒等） 等	特別支援教育
	マネジ メント 力	養成段階で身に付けるべき児童及び生徒理解や学級経営の基礎的な能力と、学校組織等や自己の役割を理解する能力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核教員として全校的視野を持ち、学校外との連携・協働ができる広範な経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力、資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	児童生徒理解に基づく学級・学年経営、ガイダンス及びカウンセリング、集団的指導力 等	学級・学年経営
			安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核教員として全校的視野を持ち、学校外との連携・協働ができる広範な経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力、資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	教育課程の編成、カリキュラム・マネジメント、学校経営 等	学校経営
			安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核教員として全校的視野を持ち、学校外との連携・協働ができる広範な経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力、資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	家庭や地域社会・関係機関との連携及び協働、学校間の連携等	学校としての連携・協働
			安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核教員として全校的視野を持ち、学校外との連携・協働ができる広範な経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力及び求められるニーズに適切にさせる能力。	安心安全な教育環境の構築、学校安全への対応、危機管理等	学校安全
安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の基礎的な知識や集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核教員として全校的視野を持ち、学校外との連携・協働ができる広範な経営力・企画力。	安全・安心な教育環境の構築をはじめとする学校経営等の参画者としてのリーダーシップを発揮し、指導者として学校内外の能力や資源を開発・活用できる広範な経営力・企画力。	交渉力、リーダーシップ、経営力、企画力、ニーズに適切にさせる能力 等	管理職としての専門性			